

FMV

DESK POWER

LX90L/D, LX70L, LX50L, LX90LN, LX50LN

さあ、はじめましょう)))

パソコンの準備



1 各部名称

2 使い始める前に

3 接続する

4 パソコンを準備する

5 周辺機器の
設置／設定／増設

6 仕様一覧

知りたいことを調べるには

さあ、
はじめましょう

パソコンの準備

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ。



パソコンの準備
の後は

FMV活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。



テレビチューナー
内蔵の機種なら

FMVで見る・録る・残すガイド

テレビや音楽を、見たり聴いたり録ったりして楽しむには、これ! [注1]

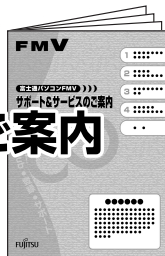
注1:テレビチューナー内蔵機種のみ添付



サポートに
ついては...

サポート&サービスのご案内

どうしても問合わせないとわからない...
そんなときはこれ!



ちょっと確認!

基本操作クイックシート

手元にあると便利、文字入力の早見表! [注2]
(二つ折りになっています)

注2:FMV-BIBLO LOOXシリーズには添付されておりません



マニュアルは「本」だけではありません!

～パソコン画面にもマニュアルがあります～

起動方法

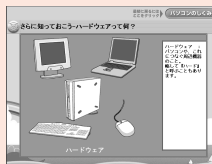
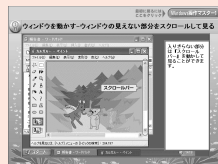
スタート

すべてのプログラム

富士通サービスアシスタント (マニュアル&サポート)

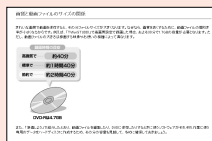
パソコンが初めての方でも安心!
パソコン入門

パソコンの基本操作や
文字入力を楽しむ学習
したいならこれ!



FMVの使い方を知るには
画面で見るマニュアル

ソフトウェア、ハードウ
ェア、インターネットな
どの説明からトラブル
シューティングまで、
幅広い情報を集結!



※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第2章 使い始める前に (●▶P.23)



必要な機器を接続します

第3章 接続する (●▶P.33)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第4章 パソコンを準備する
1 初めて電源を入れる (●▶P.44)

目的に合わせてお読みください

- メモリを増やしたい (●▶P.85)
- 仕様を確認したい (●▶P.102)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクやCD/DVDなどの媒体にバックアップをお取りください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアが別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

- (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
- (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないで行ってください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 壁紙の使用条件

お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。

8. 保証の範囲

- (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
- (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
- (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

9. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

インスタント MyMedia 使用許諾契約書について

本製品には、「インスタント MyMedia」が搭載されています。お使いになる前に、『インスタント MyMedia 使用許諾契約書』をご覧ください。『インスタント MyMedia 使用許諾契約書』は、「マニュアル・ディスクセット」の中にある「各種ご案内」に入っています。

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。



ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの「Readme.txt」を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。




このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

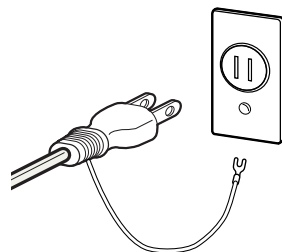
画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

電源プラグとコンセント形状の表記について







このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地用口出線付プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。



本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・キーボードの「サポート」ボタンを押す ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント (マニュアル&サポート)」の順にクリック
	CD-ROM / DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition	Windows
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法	
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ	
高画質化機能搭載MPEG2リアルタイムエンコーダ付TVチューナーカード	高画質ハードエンコーダ付 TVチューナーカード	
デジタル・ハイビジョン・テレビチューナー	デジタルチューナー	
抗菌キーボード [注] 注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分 (キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワゴンタッチボタンは除く)	キーボードまたはワイヤレスキーボード	
ワイヤレスマウス (光学式)	マウスまたはワイヤレスマウス	
富士通サービスアシスタント V3.2	サービスアシスタント	
Norton AntiVirus™ 2005	Norton AntiVirus	
外部デジタルチューナー、BS / CS / CATVチューナー、ケーブルテレビ会社用のホームターミナル	セットトップボックス	
xD-Picture Card™	xD-ピクチャーカード	

警告ラベル / 注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標または商標です。
Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標または商標です。
SD カードおよび SD ロゴは、SD ASSOCIATION の商標です。
「メモリスティック」、「マジックゲート」は、ソニー株式会社の商標です。
xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved. Copyright© FUJITSU LIMITED 2005
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM/DVD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが、故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがありますが、故障ではありません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

- ・本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間内はあくまでも目安であり、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。

製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、臭異の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
（バッテリーパックや乾電池などの消耗品は、お客様ご自身で新品を購入し、交換していただきます。）

- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品の使用環境は、温度 10～35℃/湿度 20～80%RH（動作時）、温度 -10～60℃/湿度 20～90%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVDドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

- ・ キーボードのキートップ（ワンタッチボタンを除く）には、抗菌樹脂を使用しております。
 - ・ 抗菌樹脂は、通常の樹脂に比べ、付着した各種雑菌の繁殖を低減するものですが、完全に抑止するものではありません。
 - ・ 抗菌樹脂には殺菌作用はありません。
 - ・ 試験機関：(財)化学技術戦略推進機構 高分子試験・評価センター、(財)日本化学繊維検査協会
 - ・ 試験方法：JIS Z 2801、フィルム密着法
 - ・ 抗菌の方法：抗菌剤の部品材料への練り込み
- 注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分（キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く）

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

また、本製品をお使いになるときは、各マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

異常や故障のとき

警告



- ・パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。



- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。けがの原因となります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- ・乾電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。



- ・長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。

万一乾電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。

設置されるとき

警告



- ・安全のため、電源プラグにはアース線がついています。コンセントに電源プラグを差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



- ・アース線はガス管には絶対に接続しないでください。火災の原因となります。



- ・本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。



万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。

また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。

また、添付の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電・火災または故障の原因となります。



- ・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- ・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。



- ・振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

⚠ 注意



- ・指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。

火災・故障の原因となることがあります。



- ・周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ・CD/DVD、PC カードなどのトレイやスロット、モデムや LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。けが・感電の原因となることがあります。



- ・本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。感電・火災の原因となることがあります。



- ・本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。




















- ・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

ご使用になるとき

警告

-  ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。
-  電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
-  本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
-  近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、モジュラーケーブルやアンテナケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
-  ACアダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。
-  添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。
-  開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。
-  本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。
-  病院内や医用電気機器のある場所では無線通信機能をOFFにしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
無線通信機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
-  本製品を使用したり持ち運んだりする場合は、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。もしくは、本製品の電源を切るか無線通信機能をオフにしてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。
-  航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所や、自動ドア・火災報知器などの自動制御機器の近くでは、無線通信機能をオフにしてください。
誤動作による事故の原因となります。
-  乾電池を充電しないでください。
電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。
-  乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。
-  指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂・液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
-  乾電池にハンダ付けをしないでください。
加熱することにより電池が損傷し、液漏れ・発熱・破裂の原因となります。



- ・本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



- ・パソコン本体や AC アダプタの温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。低温やけどの原因となります。

注意



- ・電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源ケーブルは壁のコンセントに直接接続してください。延長ケーブルなどを使用すると、火災の原因となることがあります。



- ・パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ・電話回線、ISDN 回線、ADSL 回線、LAN などの差し込み口（モジュージャックコネクタ）に指などを入れないでください。感電の原因となることがあります。



- ・「PC カード」、「SD カード」、「メモリスティック」、「xD- ピクチャーカード」の使用終了直後は、「PC カード」、「SD カード」、「メモリスティック」、「xD- ピクチャーカード」が高温になっていることがあります。「PC カード」、「SD カード」、「メモリスティック」、「xD- ピクチャーカード」を取り出すときは、使用后しばらく待ってから取り出してください。火傷の原因となることがあります。



- ・使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。パソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。また、排気孔などの開口部をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・CD/DVD ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。目を傷める原因となることがあります。



- ・ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・乾電池には以下のことをしないでください。破裂・液漏れ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。
 - ・ショートさせる
 - ・加熱したり、火の中に入れる
 - ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れる
 - ・落としたり、ぶついたり、大きな衝撃を与える



- ・本製品は次のような姿勢や環境で使用し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようによしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- ・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、ひじの角度が90度以上になるように使用する。



- ・1時間に10～15分程度の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見るように調整する、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。
画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。



- ・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。乾電池を取り外せる場合は、乾電池も取り外してください。
火災の原因となることがあります。

お手入れについて

警告



- ・ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると火災の原因となります。

レーザーの安全性について

本製品に搭載されているCD/DVDドライブは、レーザーを使用しています。

クラス1レーザー製品

CD/DVDドライブは、クラス1レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter Jに準拠しています。

また、クラス1レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC規格（EN 60825-1）および、JIS規格（JISC6802）に準拠しています。

警告



- ・お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因となります。



- ・本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。
レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になります。

その他

注意



- ・本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投げられると乾電池が破裂するおそれがあります。
使用済み乾電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→

「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

目次

このマニュアルの表記について	3
安全上のご注意	7

第1章 各部名称

1 パソコン本体前面	16
2 パソコン本体側面	17
パソコン本体左側面	17
パソコン本体右側面	18
3 パソコン本体背面	19
4 パソコン本体内部	20
5 ワンタッチボタン	21

第2章 使い始める前に

1 確認してください	24
機種名を確認してください	24
添付品がすべて揃っているか確認してください	24
2 使用上のお願い	25
使用および設置に適した場所	25
使用および設置に適さない場所	27
パソコン本体取り扱い上の注意	28
パソコンの疲れにくい使い方	29
落雷の恐れがあるときの注意	30
液晶ディスプレイのお手入れ	30
3 必要なものを揃える	31
パソコン本体の箱に入っています	31
別途ご用意ください	32

第3章 接続する

1 キーボード／マウスを準備する	34
2 アンテナケーブルを接続する	35
LX90L/D の場合および LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合	36
LX70L, LX50L, LX50LN の場合および LX90LN でデジタルチューナーを選択しなかった場合	40
3 リモコンを準備する	41
リモコンに乾電池を入れる	41
4 電源ケーブルを接続する	42

第4章 パソコンを準備する

1 初めて電源を入れる	44
接続を確認する	44
初めて電源を入れる～Windows のセットアップ	45
2 電源の切り方と入れ方	59
電源を切る	59
電源を入れる	62
3 インターネットを始めるための準備をする	64
初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策	64
インターネット接続の設定	64
4 Windows を最新の状態にする	66
「Windows Update」を実行する	66
5 ウィルス対策ソフトの初期設定をする	69
「Norton AntiVirus」の初期設定	69

6 ユーザー登録をする	74
ユーザー登録をするとご利用になれるサービス	74
パソコンの画面上でユーザー登録する	75
7 準備が完了したら	76
パソコンの準備はすべて完了していますか?	76
パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ	77
テレビや「インスタント MyMedia」について知りたいときは『FMV で見ると残すガイド』へ ..	78
このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合 ..	79

第5章 周辺機器の設置／設定／増設

1 周辺機器をお使いになる前に	82
周辺機器とは?	82
周辺機器を取り付けると	82
周辺機器を取り付けるには	82
周辺機器の取り扱い上の注意	83
2 メモリの増設／交換	85
メモリの取り付け場所	85
取り付けられるメモリ	86
メモリの取り扱い上の注意	87
メモリを増やす	88
メモリ容量を確認する	90
3 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	92
使用に適した配置	92
乾電池について	94
乾電池を交換する	95
ID 設定をする	95
4 リモコンについて	98
乾電池を交換する	98
リモコンをお使いになる場合の注意	98

第6章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	102
仕様一覧の注記について	106
2 その他の仕様	107
液晶ディスプレイ	107
内蔵スピーカー	107
LAN 機能	108
高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード	108
デジタルチューナー	109
LX90L/D の場合、および LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合のみ	
リモコン	109
ワイヤレスキーボード（ワンタッチボタン付、105 キー、無線方式、抗菌） ..	109
ワイヤレスマウス（光学式）	110

索引	111
-----------------	-----

Memo

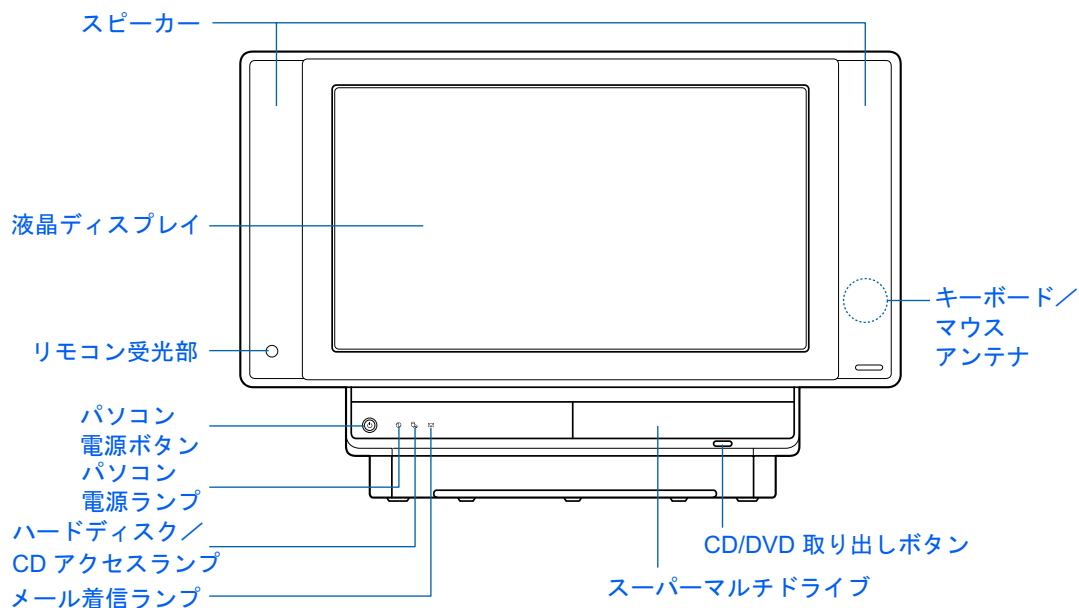
1

第 1 章 各部名称

パソコンの各部の名称について説明しています。

1	パソコン本体前面	16
2	パソコン本体側面	17
3	パソコン本体背面	19
4	パソコン本体内部	20
5	ワンタッチボタン	21

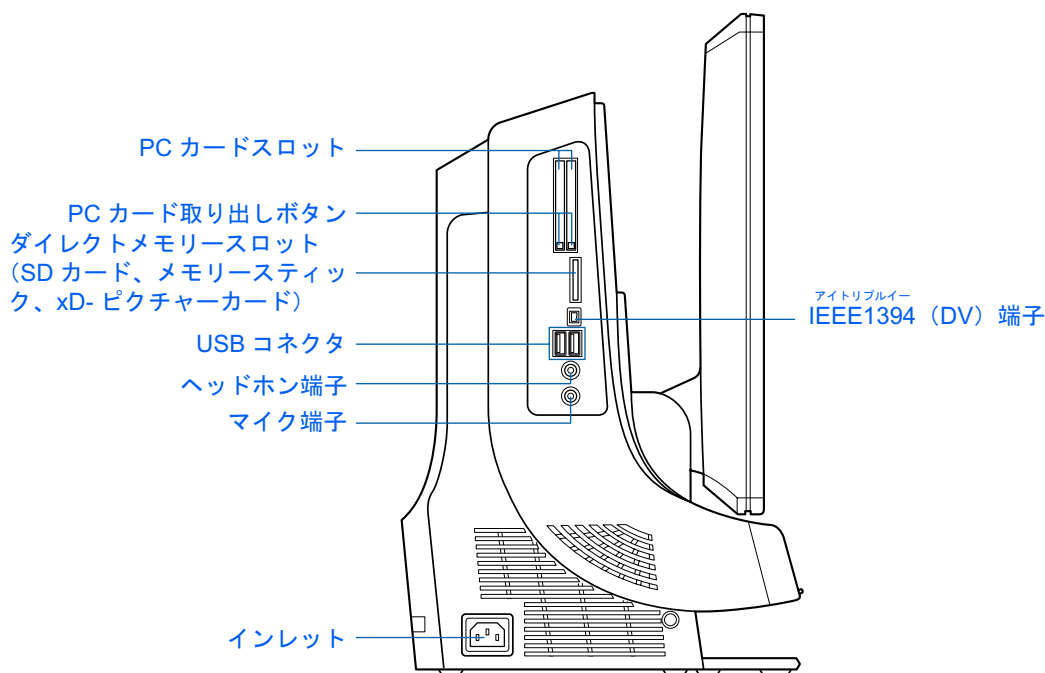
1 パソコン本体前面



詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。

2 パソコン本体側面

パソコン本体左側面



重要

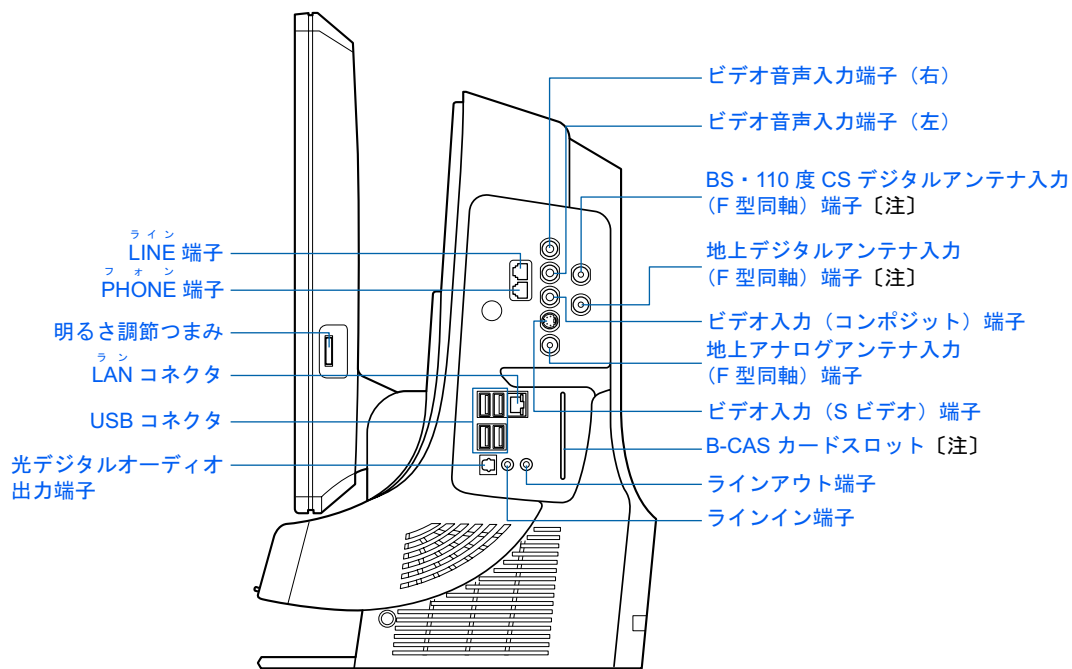
メモリーカードを取り出すときの注意

- ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD- ピクチャーカード) からメモリーカードを取り出す場合は、メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。また、メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- メモリーカードを取り出すときは、ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD- ピクチャーカード) を人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出すとき、思わぬけがををするおそれがあります。

詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。

パソコン本体右側面

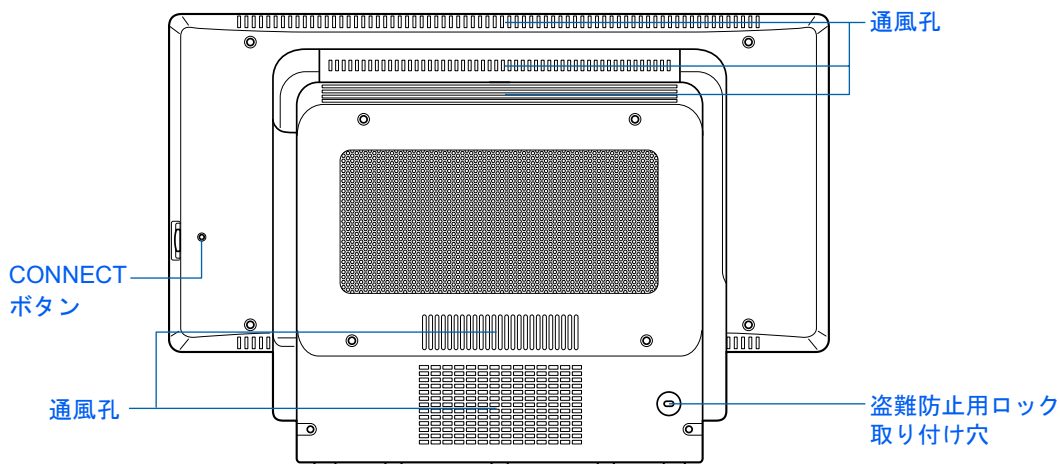
機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(●▶P.24)をご覧ください。



注：LX90L/D の場合、および LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合のみ内蔵されています。

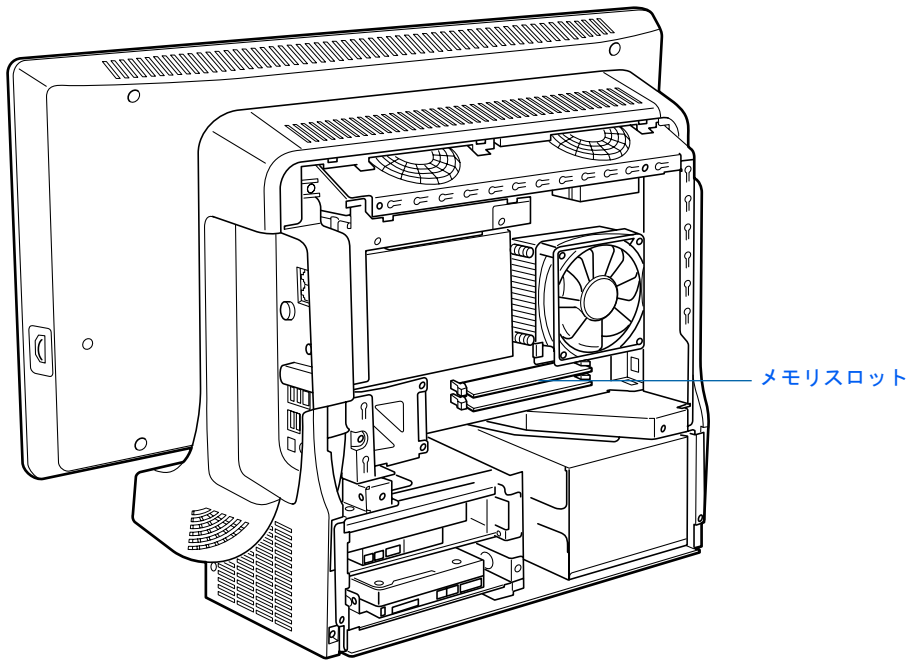
詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。

3 パソコン本体背面



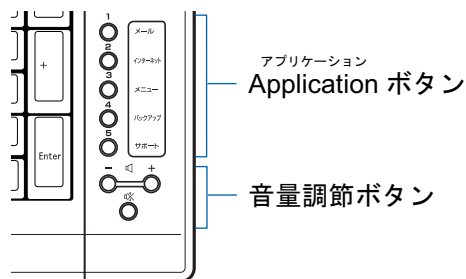
詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。

4 パソコン本体内部

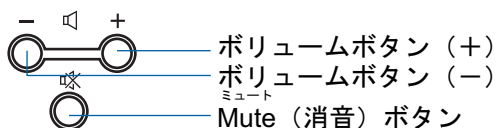


詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体内部」をご覧ください。

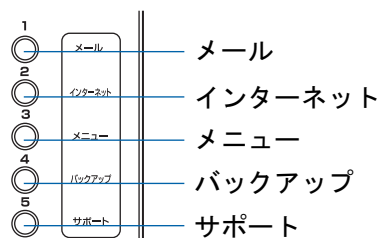
5 ワンタッチボタン



■ 音量調節ボタン



■ Application ボタン



詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 . パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：ワンタッチボタン」をご覧ください。

キーボードについては、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 . パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：キーボード」をご覧ください。

2

第 2 章

使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

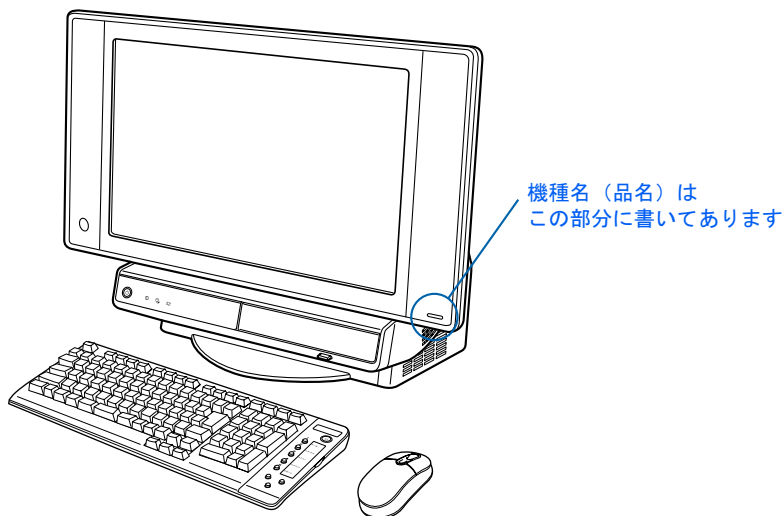
1 確認してください	24
2 使用上のお願い	25
3 必要なものを揃える	31

1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。



添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧ください。添付品をもう一度ご確認ください。

ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。



（機種により若干異なります）

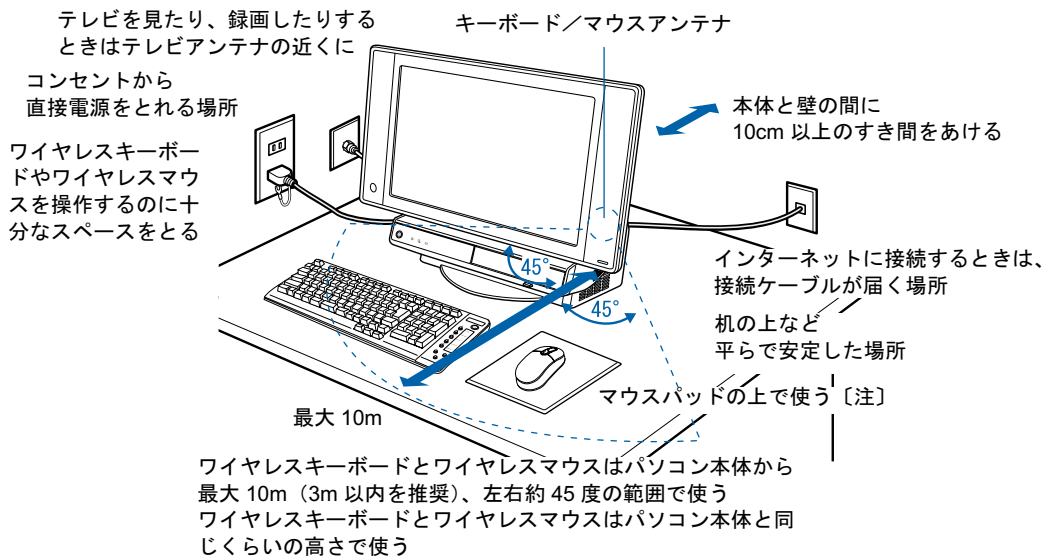
2 使用上のお願い

設置するのに適した場所や適さない場所、パソコン本体の取り扱い上の注意について説明します。

使用および設置に適した場所

パソコンは、次のような場所でお使いください。

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード/マウスアンテナはパソコン本体に内蔵されています。



注：光学式マウスに関しては「光学式マウスをお使いになる上での注意事項」(●▶P.49)もご覧ください。

⚠ 注意



- ・本製品を移動するときは、必ず2人以上で行ってください。
けがの原因となることがあります。



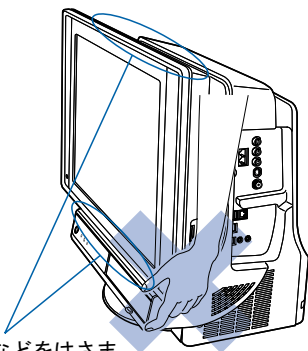
- ・パソコンを移動したり、液晶ディスプレイの角度を傾けたりするときなどに、液晶ディスプレイとパソコン本体の間に指などを挟まないようご注意ください。
けがの原因となることがあります。

👉 重要

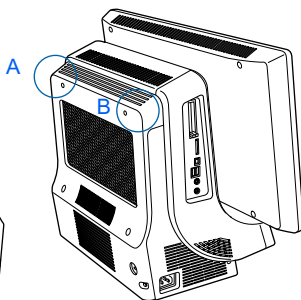
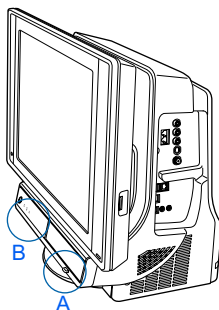
本製品を移動したり、液晶ディスプレイの角度を傾けたりするときの注意

次の点に注意してください。

- ・本製品は重量があります。本製品を移動するときは、必ず2人以上で行ってください。
- ・パソコン本体の前面右下部分と背面左上部分の2ヶ所（下図のAの部分）、
パソコン本体の前面左下部分と背面右上部分の2ヶ所（下図のBの部分）を、
両側から両手でつかんで持ち上げてください。
- ・液晶ディスプレイ部分および本体下部の金属部分は、絶対に持たないでください。
- ・液晶ディスプレイとパソコン本体の間に指などを挟まないようご注意ください。



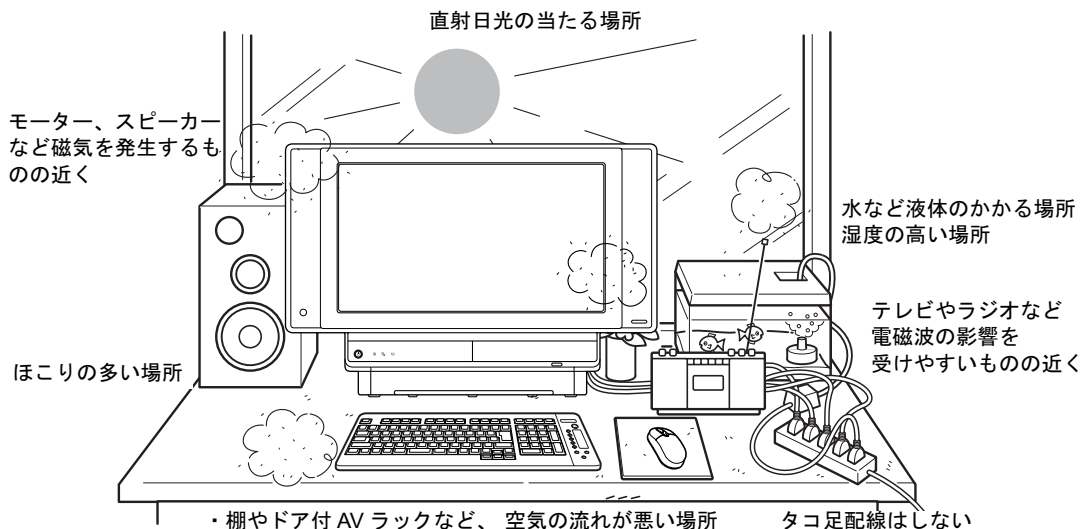
この部分に指などは挟まないようご注意ください



使用および設置に適さない場所

誤動作、故障、劣化、受信障害の原因となるため、次のような場所ではお使いにならないでください。

極端に高温または低温になる場所
結露する場所



POINT

- ・本製品の使用環境は温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90% RH (非動作時) です。
- ・結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動したときに起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ・本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所で使用すると、本製品が腐食する可能性がありますので、ご注意ください。
- ・本製品のそばで喫煙をすると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・本製品の通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPU ファンの冷却効果を低下させる可能性がありますので、掃除機などで定期的に通風孔のほこりを取ってください。

電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

次のような環境でお使いになると、周囲からの電波の影響を受けて、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。

- ・パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている
- ・パソコン本体と、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの間に電気・電子機器や金属製のものを置いている
- ・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している
- ・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある（このパソコンを複数台でお使いの場合、無線局の近隣でお使いの場合、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合など）
- ・パソコン本体を電子レンジの近くに置いている

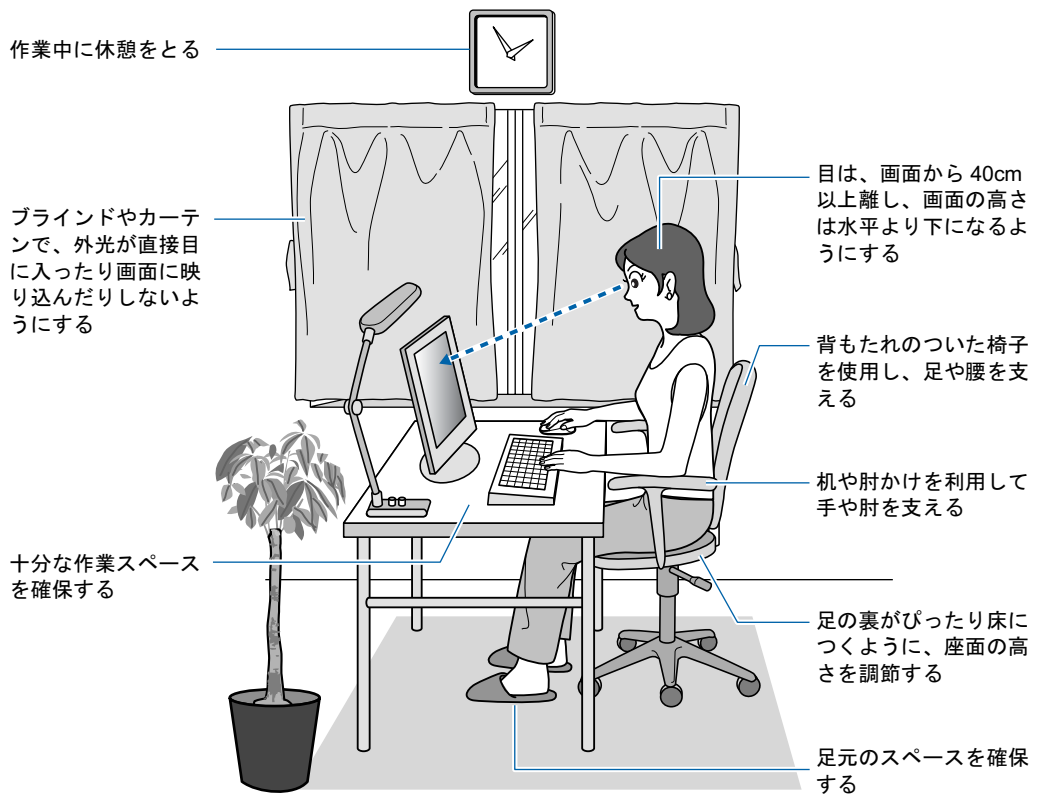
このような場合には、パソコン本体の向きや位置を変えたり、パソコン本体の液晶ディスプレイの傾きを調整したり、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID を設定しなおしたりすることによって、動作する場合があります。詳しくは、「ID 設定をする」(▶P.95) をご覧ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- ・ 衝撃を与えたり強い力で押ししたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ 画面をひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。画面に傷がつく原因になります。
- ・ スピーカー前面を強い力で押ししたりしないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
- ・ 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・ 本製品の近くで携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてお使いください。
- ・ 本製品に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
- ・ パソコン本体内部から聞こえる音や、パソコン本体が発する熱について
本製品をご使用中には、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD が回転する音などが聞こえます。また、本製品の使用中に、パソコン本体が熱を持つために熱く感じられることがあります。これらは故障ではありません。
- ・ 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- ・ 本製品は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

パソコンの疲れにくい使い方

パソコンを長い時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩が痛くなり、腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。



POINT

富士通では、独立行政法人産業医学総合研究所の研究に協力し、その成果が「パソコン利用のアクション・チェックポイント」としてまとめられています。詳しくは、富士通ホームページ (<http://design.fujitsu.com/jp/universal/ergo/vdt/>) の解説をご覧ください。

ディスプレイ

- ・ 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンを取り付けたり、画面の向きや角度を調整しましょう。
- ・ 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ ディスプレイの上端が目と同じかやや低くなるように設定しましょう。
- ・ ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・ 目と画面の距離は、40cm以上離すようにしましょう。

使用時間

- ・1時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間をとりましょう。また、休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回取り入れましょう。

入力機器

- ・キーボードやマウスは、ひじの角度が90度以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子の肘かけなどで支えるようにしましょう。

机と椅子

- ・高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
 - 机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
 - 椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・椅子は、背もたれ、肘かけ付きを使用しましょう。

作業スペース

- ・机上のパソコンの配置スペースと作業領域は、十分確保しましょう。
- ・スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子の肘かけなどを利用して腕を支えましょう。

落雷の恐れがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源スイッチを切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LANケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- ・液晶ディスプレイの汚れは、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・化学ぞうきんや市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - アルカリ性成分を含んだもの
 - 界面活性剤を含んだもの
 - アルコール成分を含んだもの
 - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - 研磨剤を含むもの

3 必要なものを揃える

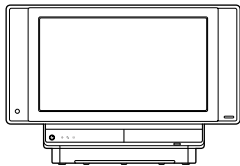
必要なものをあらかじめ揃えてから、第3章へ進みましょう。

パソコン本体の箱に入っています

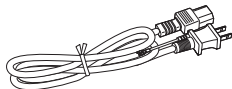
機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(▶▶P.24)をご覧ください。

注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

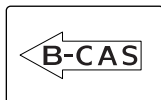
■ パソコン本体



■ 電源ケーブル

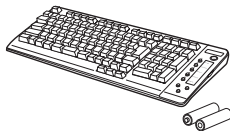


■ B-CAS カード



LX90L/D の場合、および LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合のみ添付されています。

■ ワイヤレスキーボード 単 3 アルカリ乾電池 × 2



■ 保証書



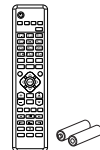
梱包箱に貼り付けられています。

■ ワイヤレスマウス (光学式) 単 3 アルカリ乾電池 × 2



■ リモコン

単 3 マンガン乾電池 × 2



(イラストは機種や状況により異なります)

別途ご用意ください

■ アンテナケーブル



👉 重要

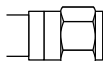
アンテナケーブル類はお客様に別途ご用意いただきます

アンテナケーブル、同軸ケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、分配器などは添付されていません。お客様でご用意ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご用意ください。

アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧ください。なるか、電器店にお問い合わせください。



F 型コネクタプラグ

F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください

- ・コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
また、S ビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ・ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

続いて、パソコンの接続をしましょう（*▶P.33）。

3

第 3 章 接続する

パソコンの接続について説明しています。

1 キーボード／マウスを準備する	34
2 アンテナケーブルを接続する	35
3 リモコンを準備する	41
4 電源ケーブルを接続する	42

警告



- ・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

注意



- ・使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。パソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。また、排気孔などの開口部をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

1 キーボード／マウスを準備する

ここでは、キーボード／マウスを使用するための準備について説明しています。ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに添付のアルカリ乾電池を入れます。

⚠ 警告

❗ ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

👉 重要

ご購入時はワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID は設定されていません

「初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ」(●▶P.45)の手順に従って、必ずワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID 設定をしてください。設定を行わないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用できません。

ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。詳しくは、「乾電池について」(●▶P.94)をご覧ください。

ワイヤレスマウスに乾電池を入れても光学センサーが光らない場合は

何度か乾電池を入れなおしてください。

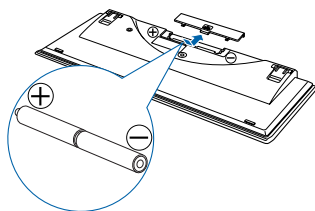
ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がしますが、故障ではありません

詳しくは「使用に適した配置」の「重要」(●▶P.93)の重要をご覧ください。

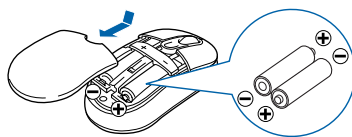
1 ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス（光学式）の電池ボックスのふたを開け、添付のアルカリ乾電池を入れます。

ワイヤレスキーボードは、裏返して電池ボックスのふたを開けます。

■ ワイヤレスキーボード

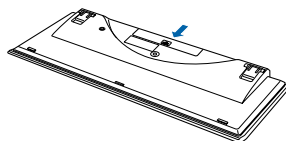


■ ワイヤレスマウス（光学式）



2 電池ボックスのふたを閉めます。

■ ワイヤレスキーボード



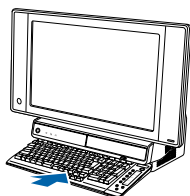
■ ワイヤレスマウス（光学式）



🔍 POINT

ワイヤレスキーボードを収納することができます


ワイヤレスキーボードをパソコン本体の下に半分収納することができます。



続いて、アンテナケーブルを接続しましょう (●▶P.35)。

2 アンテナケーブルを接続する

ここでは、アンテナケーブルを接続する方法について説明します。アンテナケーブルは後からでも接続できます。アンテナケーブルを用意していない場合やこのパソコンですぐにテレビを見ない場合は、アンテナケーブルを接続する必要はありません。「リモコンを準備する」(●▶P.41)へ進んでください。

BS/CS/CATV のテレビ番組を見るためにセットトップボックスなどの外部映像機器を接続する場合は、「準備が完了したら」(●▶P.76)までの作業が終わってから、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8.周辺機器の接続」→「外部映像機器を接続する」をご覧ください。

警告



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

重要

アンテナケーブル類はお客様に別途ご用意いただきます

アンテナケーブル、同軸ケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、分配器などは添付されていません。お客様でご用意ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご用意ください。アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧ください。なるか、電器店にお問い合わせください。



F 型コネクタプラグ

F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください

- ・コネクタの形状(大きさ)によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。また、S ビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ・ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

アンテナケーブルを接続するときはパソコン電源を切ってください

パソコン電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

金属芯を折らないよう、ご注意ください

アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意してください。

お使いの機種によって、アンテナケーブルの接続方法が異なります。

次の表をご覧ください。お使いの機種に対応する接続方法のページをご覧ください。

お使いの機種	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> ・ LX90L/D ・ LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合 	「LX90L/D の場合および LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合」(●▶P.36)
<ul style="list-style-type: none"> ・ LX70L ・ LX50L ・ LX90LN でデジタルチューナーを選択しなかった場合 ・ LX50LN 	「LX70L, LX50L, LX50LN の場合および LX90LN でデジタルチューナーを選択しなかった場合」(●▶P.40)


LX90L/D の場合および LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合

アンテナの確認・準備

アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。次ページの表から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。ケーブル類などを用意していない場合や視聴しないテレビ放送のアンテナケーブルは接続する必要はありません。後からでも接続できます。ケーブルテレビをご利用になっている場合は、受信契約をしているケーブルテレビ放送会社によって接続方法が異なります。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問合せください。

重要

地上デジタル放送の放送エリアをご確認ください

お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアかどうか確認してください。詳しくは、「準備が完了したら」(▶▶P.76) までの作業が終わってから、『FMV で見ると残すガイド』→「デジタル放送を楽しむ」→「デジタル放送について」→「デジタル放送を受信するには」をご覧ください。

地上デジタル放送の入力信号強度について

お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアであっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などにより、視聴できないことがあります。

地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です

地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。お使いになっている地上アナログ放送用の UHF アンテナを使用できる場合があります。ただし、地域によっては、アンテナの取り換えや方向の変更、ブースターが必要になる場合があります。地上デジタル放送に対応していない UHF アンテナをお使いになっている場合は、別途地上デジタル放送用 UHF アンテナを設置する必要があります。詳しくは、アンテナ工業者へお問合せください。

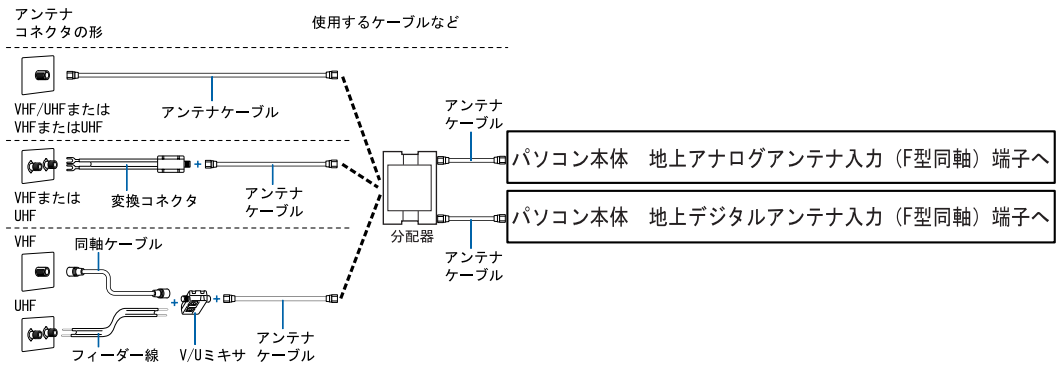
地上デジタル放送用のアンテナの向きや周波数をご確認ください

お住まいの地域によって地上デジタル放送用のアンテナの向きや周波数が異なります。詳しくは、お近くの電気店にお問合せください。

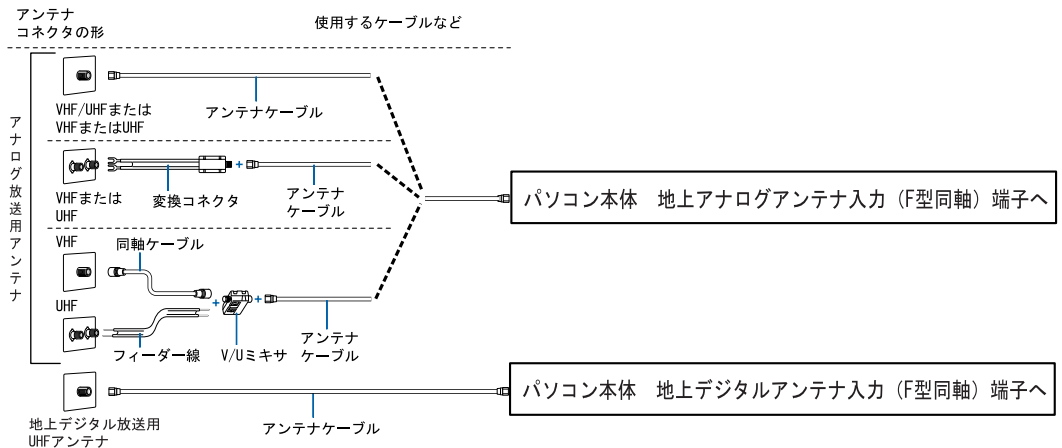
BS / 110 度 CS デジタル放送用アンテナについて

- BS / 110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置した後に方向調整が必要です。詳しくは、アンテナのマニュアルをご覧ください。
- BS デジタル放送のみ視聴する場合は、BS デジタル放送用アンテナもお使いいただけます。
- 従来の BS アンテナでは、まれに BS デジタル放送を受信できない場合があります。受信できない場合は、BS / 110 度 CS デジタルアンテナをお使いください。
- BS / 110 度 CS デジタル放送を受信する際にケーブル、ブースター、分配器などをお使いになる場合は、周波数帯域に対応したもの（BS デジタル：1500MHz 以上、110 度 CS デジタル：2150MHz 以上）をお使いください。
- スカイパーフェクト TV！用のアンテナでは、110 度 CS デジタル放送を受信することはできません。
- アンテナ信号だけでなく、アンテナ電源もアンテナケーブル芯線を経由します。アース線とショートした状態にならないようにしてください。

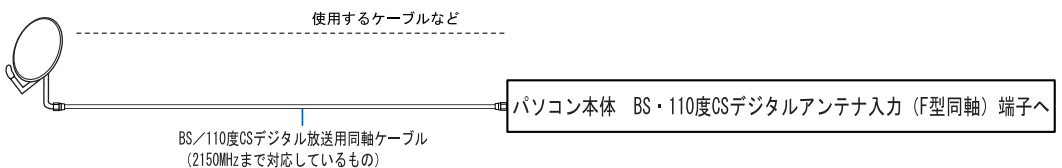
地上アナログ放送／地上デジタル放送用アンテナ (UHF アンテナが地上デジタル放送に対応している場合)



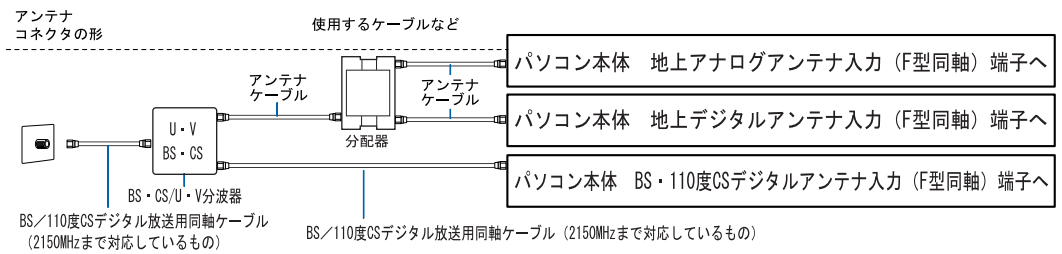
地上アナログ放送／地上デジタル放送用アンテナ (UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない場合)



BS / 110度CS デジタル放送用アンテナ [注]



マンションなどの共同受信の場合 (地上／BS / 110度CSデジタル放送用アンテナが混合の場合) [注]



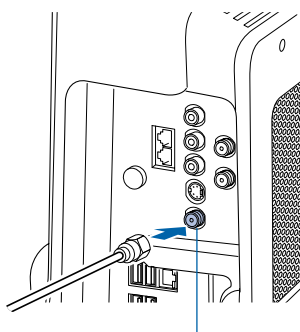
注：BS / 110度CS デジタル放送用アンテナの電源について
 BS / 110度CS デジタル放送用アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。ご購入時は「共同」（アンテナ電源オフ）に設定されています。アンテナ電源を「個別」（アンテナ電源オン）に設定してください。アンテナ電源を「個別」（アンテナ電源オン）に設定した場合でも、本製品の電源を切っているときや休止状態のときは、アンテナ電源の供給は停止されます。予約録画時に復帰した場合は自動的にアンテナ電源が供給されます。マンションなど集合住宅に共同アンテナが設置されている場合は設定を変更する必要はありません。設定方法については、「準備が完了したら」(●▶P.76) までの作業が終わってから、『FMV で見ると・録ると・残すガイド』→「準備をする」→「チャンネルを設定する」→「DigitalTVbox」のチャンネルを設定するをご覧ください。

アンテナの確認・準備が完了したら、アンテナケーブルをパソコン本体に接続しましょう (●▶P.38)。

アンテナケーブルをパソコン本体に接続する

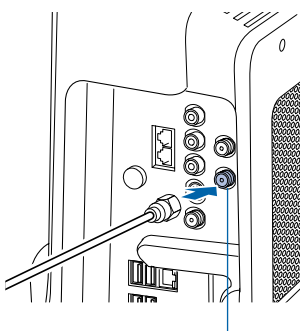
視聴するテレビ放送のアンテナケーブルを接続してください。視聴しないテレビ放送のアンテナケーブルは接続する必要はありません。

- 1** 本製品のすべての電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
- 2** 地上アナログ放送用のアンテナケーブルをパソコン本体の地上アナログアンテナ入力（F型同軸）端子に接続します。



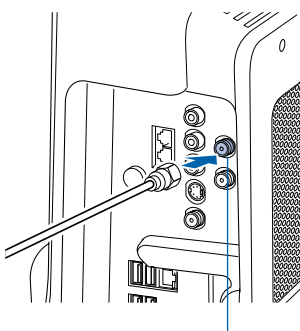
地上アナログアンテナ入力（F型同軸）端子

- 3** 地上デジタル放送用のアンテナケーブルをパソコン本体の地上デジタルアンテナ入力（F型同軸）端子に接続します。



地上デジタルアンテナ入力（F型同軸）端子

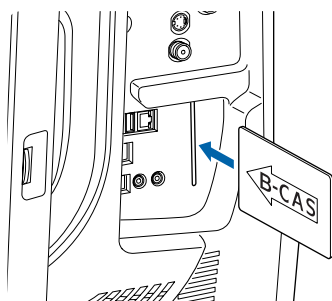
- 4** BS / 110度CSデジタル放送用のアンテナケーブルをパソコン本体のBS・110度CSデジタルアンテナ入力（F型同軸）端子に接続します。



BS・110度CSデジタルアンテナ入力（F型同軸）端子

5 地上／BS／110度CSデジタル放送を視聴する場合は、B-CASカードをB-CASカードスロットに挿入します。

絵柄が表示されている面を手前にして、矢印の向きをB-CASカードスロット側に向け、奥までしっかりと差し込みます。



POINT

B-CASカードについて

- ・ B-CASカードの説明書に記載されている内容をよくお読みください。
- ・ B-CASカードは必ずパソコン本体に挿入してください。B-CASカードを挿入していないと、デジタル放送を視聴することができません。B-CASカードについては、『FMVで見る・録る・残すガイド』→「デジタル放送を楽しむ」→「デジタル放送について」→「デジタル放送を受信するには」をご覧ください。

B-CASカードの取り外し方

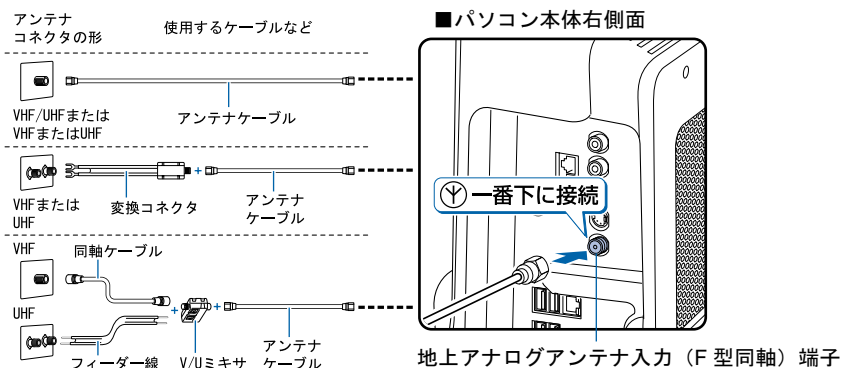
B-CASカードは通常パソコン本体にセットしたままにしておきますが、取り外す場合は次の手順に従って操作してください。

1. 本製品のすべての電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
2. 手でB-CASカードを引き抜きます。

続いて、リモコンを準備しましょう（●▶P.41）。

LX70L,LX50L,LX50LN の場合および LX90LN でデジタルチューナーを選択しなかった場合

- 1** 本製品のすべての電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
- 2** アンテナケーブルをパソコン本体右側面の地上アナログアンテナ入力（F型同軸）端子に接続します。
接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。



続いて、リモコンを準備しましょう（●▶P.41）。

3 リモコンを準備する

ここでは、リモコンを使用するための準備について説明します。

リモコンに乾電池を入れる

警告



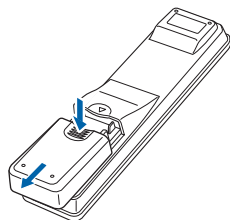
- ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

重要

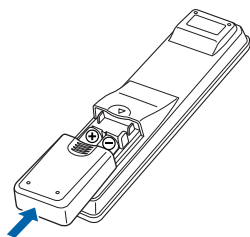
ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。



2 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを確かめてから添付のマンガン乾電池を入れて、電池ボックスのふたを閉めます。



続いて、電源ケーブルを接続しましょう（●▶P.42）。

4 電源ケーブルを接続する

ここでは、パソコン本体の電源ケーブルを接続する方法について説明します。

⚠ 警告



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、モジュラーケーブルやアンテナケーブルをコネクタから抜いてください。そのまま使用すると、落雷による感電・火災のおそれがあります。

👉 重要

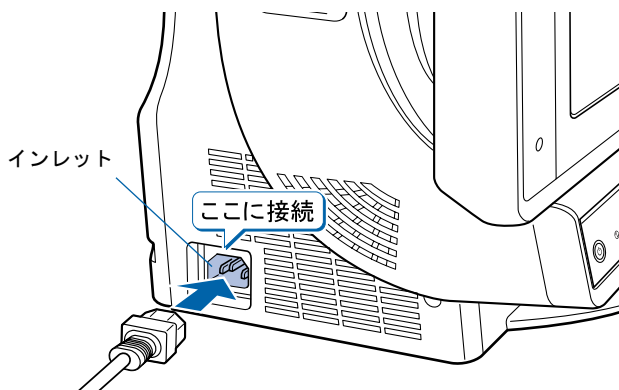
確認してください

ここまでに接続したすべてのケーブルが、正しく接続されているか確認してください。

1 電源ケーブルを、パソコン本体左側面のインレットに接続します。

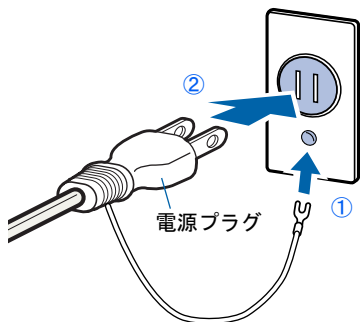
コネクタの向きに注意して差し込んでください。

■パソコン本体左側面



2 電源ケーブルを、コンセントに差し込みます。

①アース線をコンセントのアースネジに差し込んで、②電源プラグをコンセントに差し込んでください。



👉 重要

アース線について

安全のため、電源ケーブルにはアース線がついています。コンセントに電源プラグを差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

続いて、電源を入れましょう (…▶P.44)。

4

第4章

パソコンを準備する

初めてパソコンの電源を入れるときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1	初めて電源を入れる	44
2	電源の切り方と入れ方	59
3	インターネットを始めるための準備をする	64
4	Windows を最新の状態にする	66
5	ウイルス対策ソフトの初期設定をする	69
6	ユーザー登録をする	74
7	準備が完了したら	76

1 初めて電源を入れる

接続を確認する

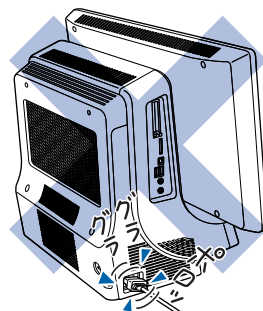
重要

ケーブルはグラグラしていませんか？

奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

セットアップ前には、LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) を接続しないでください

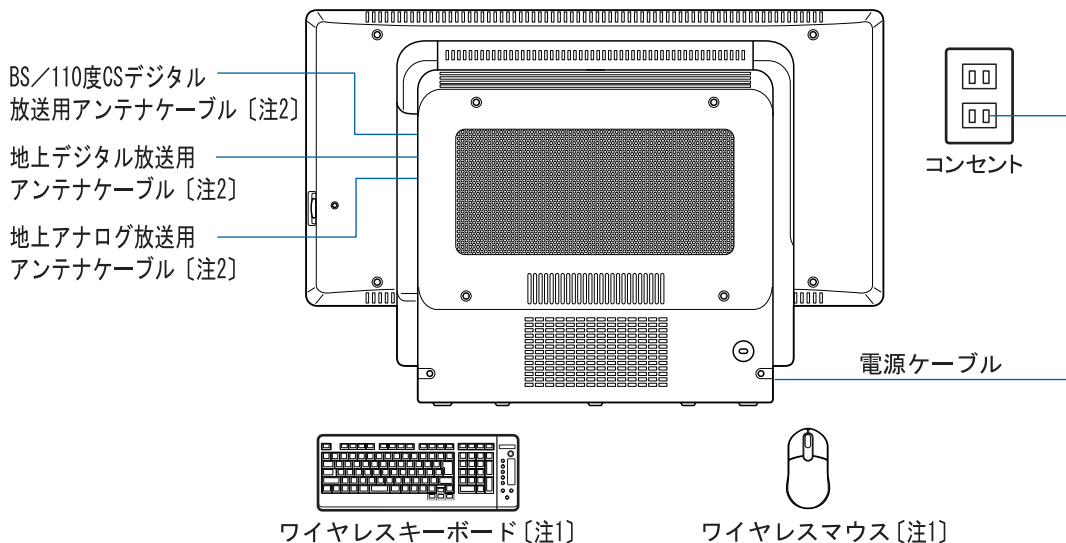
LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。



セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタやメモリなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続してください。

電源を入れる前に、下のイラストをご覧になり、正しく接続できているか確認してください。



注1：添付の乾電池が正しく入っているか確認してください。

注2：視聴するテレビ放送のアンテナケーブルが接続されているか確認してください。

初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ

初めて電源を入れるときは、Windowsのセットアップという作業が必要です。Windowsのセットアップは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。このWindowsのセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

セットアップ時の注意事項

セットアップは時間に余裕をもって作業してください

セットアップは半日以上の時間をとり、じっくりと作業することをお勧めいたします。

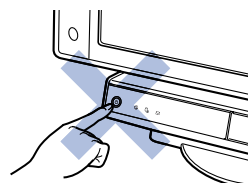
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの注意事項

初めて電源を入れてから行う操作（Windowsのセットアップ）の中で、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスのID設定をします。

Windowsのセットアップは1台ずつ行ってください。

セットアップが終わるまでパソコン電源を切らないでください

Windowsのセットアップを途中で止めると、Windowsが使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、パソコン電源を切らないでください。もしパソコン電源を切ってWindowsが使えなくなった場合、『F MV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときのQ&A集」→「Q パソコンの電源を入ると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windowsが起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他）」をご覧ください。



セットアップが終わるまでリモコンは使用しないでください

Windowsのセットアップの途中でリモコンを操作すると、Windowsのセットアップが途中で終了してしまうことがあります。セットアップが終わるまで、リモコンは使用しないでください。もしパソコン電源が切れてWindowsが使えなくなった場合には、『F MV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときのQ&A集」→「Q パソコンの電源を入ると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windowsが起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他）」をご覧ください。

セットアップ中の画面表示について

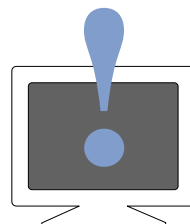
セットアップ中は、画面の両端が黒く表示されますが、故障ではありません。セットアップ終了後は全画面表示になります。

画面が乱れることがあります

パソコン電源を入れてから「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまでの間、一瞬画面が乱れることがあります。故障ではありませんのでそのままお使いください。

しばらく操作しないと

パソコン電源を入れた状態でしばらく（約5分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、パソコン電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。マウスを動かしたり、キーボードの↑ ↓ ← → や (Shift) のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。



Windows のセットアップを始めましょう。

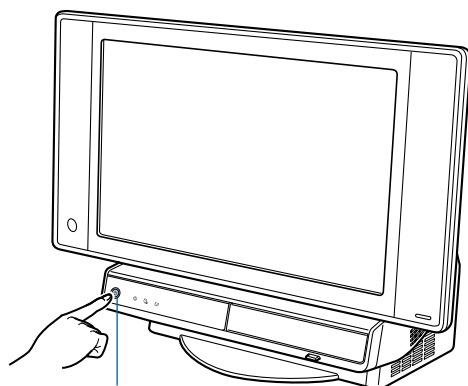
「Windows のセットアップ」とは、次の3つの作業のことです。合計27手順あります。

- 1 「Windows の設定」…▶手順 1 ～ 14
- 2 「必ず実行してください」の実行…▶手順 15 ～ 23
- 3 「サービスアシスタントの起動・終了方法」…▶手順 24 ～ 27

ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

Windows の設定

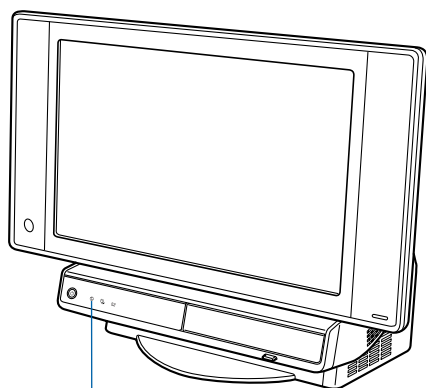
1 パソコン電源ボタンを押します。



パソコン電源ボタン

2 パソコン電源ランプが緑色に点灯することを確認します。

電源が入ると、画面にさまざまな文字などが表示されます。



パソコン電源ランプ

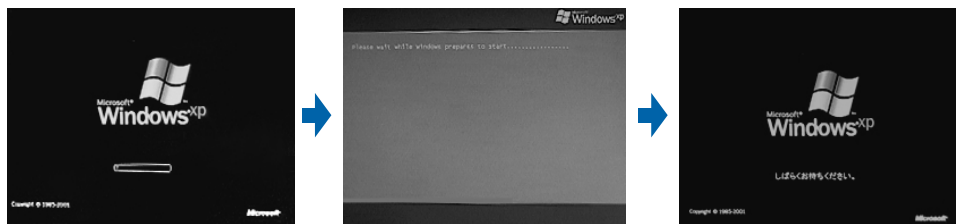
POINT

画面に何も表示されない場合は

もう一度パソコン電源ボタンを押してみてください。

3 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

手順7の画面(▶▶P.48)が表示されるまで、パソコン電源を切らずにそのままお待ちください。

途中でパソコン電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もしパソコン電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら(Q&A)」→「パソコンがおかしいときのQ&A集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない(メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。

4 ワイヤレスキーボードのIDを設定します。

「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体背面のCONNECT ボタンを1回押します。
電気を通さない棒状のもの(つま楊枝など)を、まっすぐに差し込んでください。
2. ワイヤレスキーボード裏面のCONNECT ボタンを指で1回押します。指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。
パソコン本体のCONNECT ボタンを押してから、約10秒以内に押してください。IDが自動的に設定されます。
3. ワイヤレスキーボードの状態表示LCDが点灯しているか確認してください。
状態表示LCDが点灯していない場合は、手順1からもう一度設定を行ってください。

詳しくは、「ワイヤレスキーボードのID設定をする」(▶▶P.96)をご覧ください。

ID設定を行わないと、ワイヤレスキーボードを使用できません。

5 ワイヤレスマウスのIDを設定します。

次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体背面のCONNECT ボタンを1回押します。
電気を通さない棒状のもの(つま楊枝など)を、まっすぐに差し込んでください。
2. ワイヤレスマウス裏面のCONNECT ボタンを指で1回押します。指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。
パソコン本体のCONNECT ボタンを押してから、約10秒以内に押してください。IDが自動的に設定されます。
3. ワイヤレスマウスを操作します。
マウスカーソルを動かし、正常に動作すれば設定完了です。正常に動作しない場合は、手順1からもう一度設定を行ってください。

詳しくは、「ワイヤレスマウスのID設定をする」(▶▶P.97)をご覧ください。

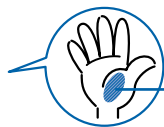
ID設定を行わないと、ワイヤレスマウスを使用できません。

電源を切らずに次のページへ

6 マウスを用意します。

マウスを机の上などの平らな場所に置き、左右のボタンに指がかかるように手を軽く乗せます。

手のひらの下の部分が、軽く机に触れるようにしてください。

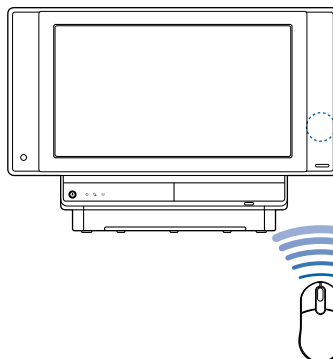


ここが机に触れるようにします

POINT

マウスの向きに注意！

ワイヤレスマウスはボタンがあるほうをパソコン本体に向けて使います。

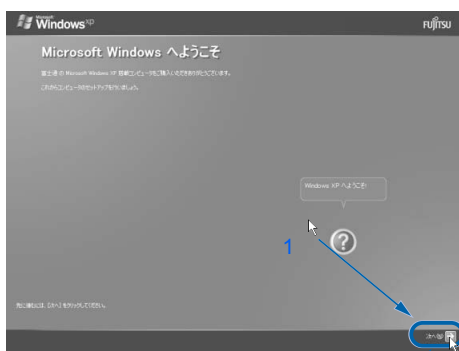


キーボード／マウスアンテナ

7 1 画面上のマウスを「次へ」の右の▶に合わせ、2 マウスの左ボタンを軽くカチッと1回押して、すぐ離します。

マウスを平らな場所に置いたまま、すべらせると、マウスの動きに合わせて、マウスポインタが画面の上を動きます。

2の操作のことを、「クリック」といいます。



1

2

左ボタン



マウスポインタを合わせると薄い緑色に変わります。

POINT

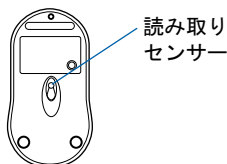
キーボードやマウスで操作できない場合

キーボードやマウスが操作できなくなった場合は、「使用上のお願い」(●▶P.25)をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコン電源を入れ直してください。

1. パソコン電源ボタン(●▶P.16)を4秒以上押したままにして、強制的に電源を切ります。
2. ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに乾電池が正しく入っているか確認します(●▶P.34)。
3. もう一度パソコン電源ボタンを押します(4秒以上押さないでください)。
4. 「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、「ID設定をする」(●▶P.95)をご覧になり、ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウスのID設定をします。

マウスのしくみ

光学式マウスには、裏面に光学式読み取りセンサーが付いています。マウスを机の上などですべらせると、マウス裏面から出された赤い光の陰影を光学式センサーで検知し、画面上のマウスポインタが動くようになっています。



光学式マウスをお使いになる上での注意事項

光学式マウスは、机の上だけでなく、紙の上などでもお使いになることができますが、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。

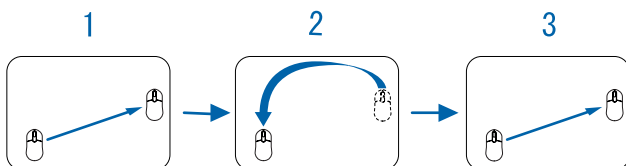
- ・鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- ・光沢があるもの
- ・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの(木目調など)
- ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

光学式センサーは机などと接触せずにマウスの動きを検知しているため、特にマウスパッドなどの必要はありませんが、マウス本体は机などと接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、マウスパッドなどをお使いになることをお勧めします。

マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになることをお勧めします。

マウスが機の端まできたら

1 マウスが機の端まできたら、2 いったんマウスを持ち上げて、もう一度別の位置から動かしてください。マウスを持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。





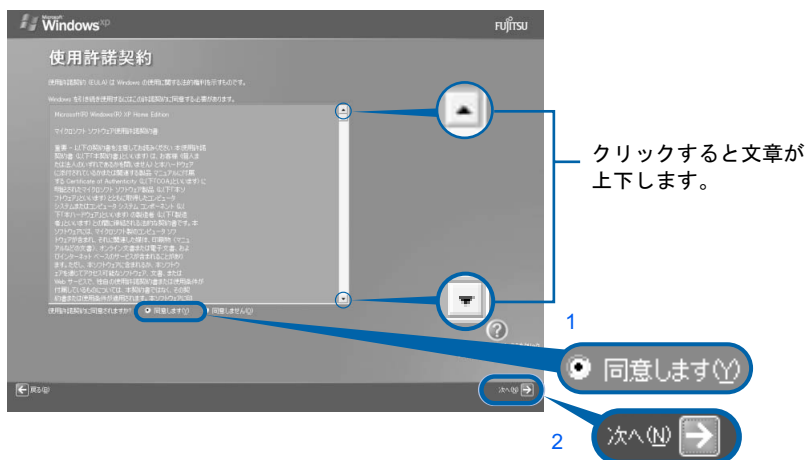
マウスを持ち上げている間はマウスポインタは動きません。

ボタンは軽く押すだけでOK!

力を入れて押す必要はありません。マウスのボタンはカチッと1回押したら、すぐ指を離すようにします。

電源を切らずに次のページへ

- 8** **1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして**  **にし、** **2 「次へ」の右の**  **をクリックします。**




次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

重要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に ...」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。

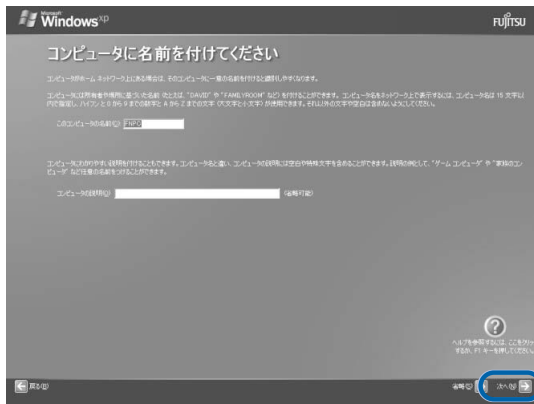
手順 8 の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の  をクリックしてください。

- 9** **1 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして**  **にし、** **2 「次へ」の右の**  **をクリックします。**



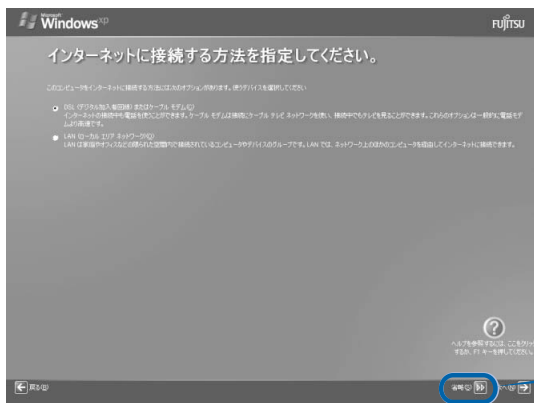
10 「次へ」の右の➡をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

11 「省略」の右の▶▶をクリックします。



POINT

「インターネット接続が選択されませんでした」という画面が表示された

この画面が表示されたら、「省略」の右の▶▶をクリックして、手順 12 (●▶▶P.52) へ進んでください。

インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから、「インターネットを始めるための準備をする」(●▶▶P.64) をご覧ください。

12 1 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして⊙にし、2 「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の⏪をクリックして、手順 12 からやり直します。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか?」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして⊙にし、「次へ」の右の➡をクリックします。

13 画面に表示されているメッセージを確認してから、「完了」の右の➡をクリックします。



パソコンが再起動します。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

14 そのまましばらくお待ちください。

パソコンが再起動すると、次のような画面が表示されます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

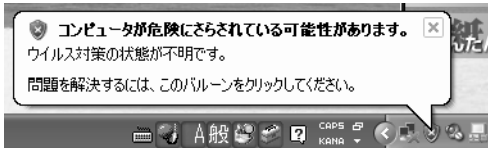
続いて、「必ず実行してください」を実行します (●▶P.54)。

POINT

画面右下の通知領域に「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら

まだウイルス対策ソフトの設定が終わっていないため表示される場合があります。

このような場合は、この後手順どおりに進み、「ウイルス対策ソフトの初期設定をする」(●▶P.69)をご覧ください。なって設定すると表示されなくなります。



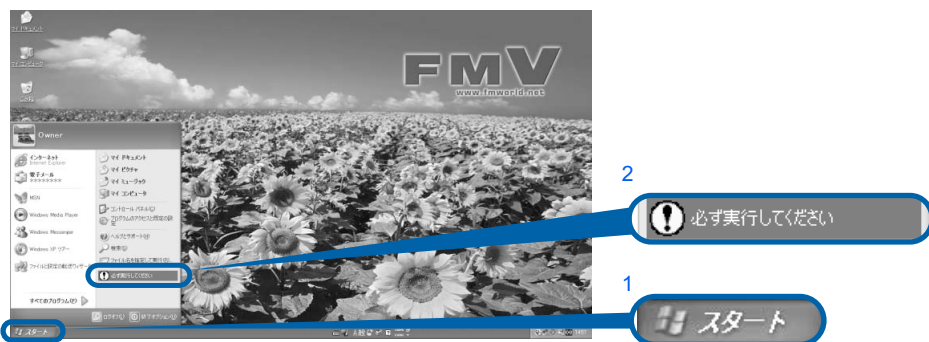
Windows 起動時、または終了時の画面について

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えるときがあります。これは画面のデザインであり故障ではありません。

「必ず実行してください」の実行

15 1「スタート」ボタン→2 ①必ず実行してくださいの順にクリックします。

①必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。



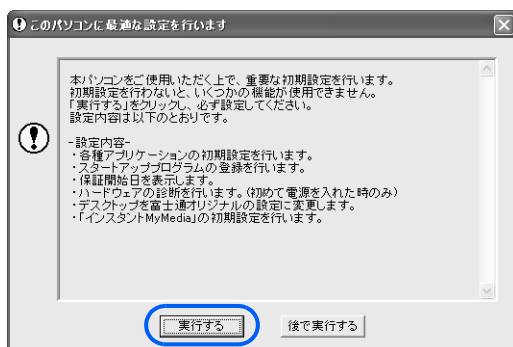
POINT

画面にある①(必ず実行してください)をクリックしても実行できます

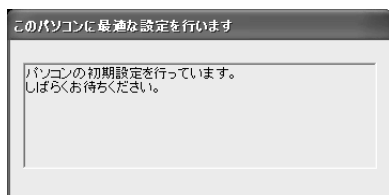
1. 画面の①をクリックします。

この後は、手順 16 (▶▶P.54) に進んでください。

16 「実行する」をクリックします。

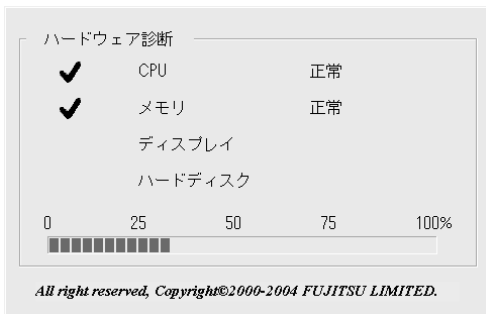


パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。手順 17 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



17 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 18 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

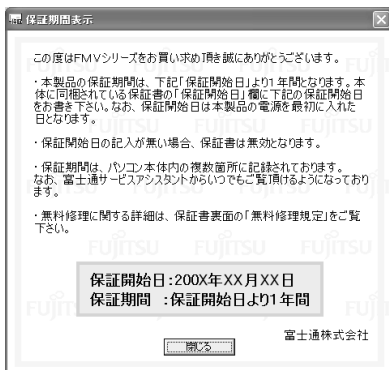


重要

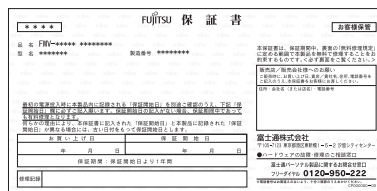
ハードウェア不良の画面が表示された場合

画面の指示に従ってください。

18 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



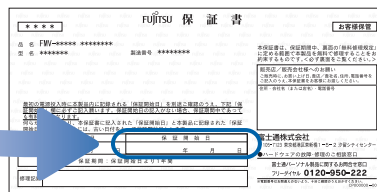
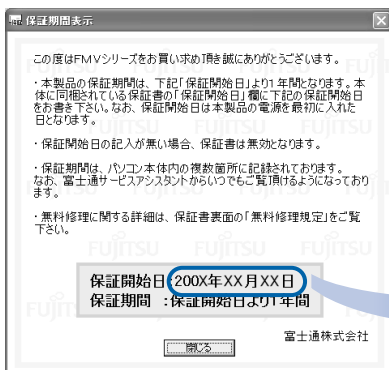
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



19 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

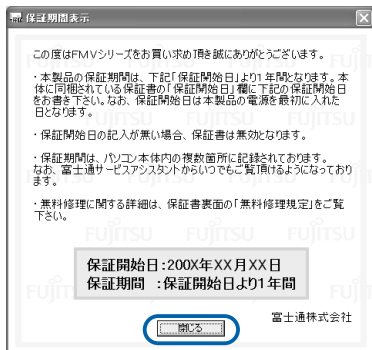
保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

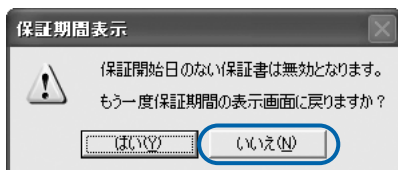


電源を切らずに次のページへ

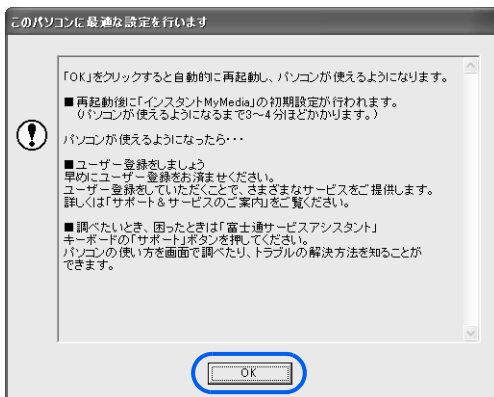
20 「閉じる」をクリックします。



21 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。 もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



22 「OK」をクリックします。



「インスタント MyMedia」の初期設定が始まります。

設定中はパソコンが再起動して画面が真っ暗になったり、「インスタント MyMedia」の画面が表示されたりします。設定が終了するまでには3~4分ほどかかります。手順23(●▶P.56)の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

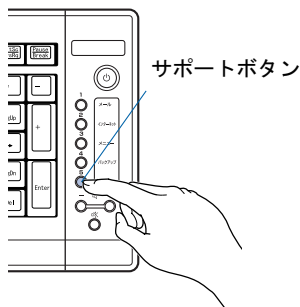
23 画面が表示されたことを確認します。



サービスアシスタント（画面で見るマニュアル）の起動・終了方法

パソコンの操作でわからないことがあるときやパソコンの調子が悪いときには「サービスアシスタント」をご覧ください。「サービスアシスタント」では、画面で見るマニュアルや、サポートに関する情報などをご覧いただけます。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

24 キーボードの「サポート」ボタンを押します。



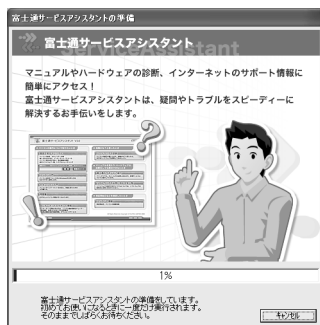
POINT

機種を選択する画面が表示されたときは

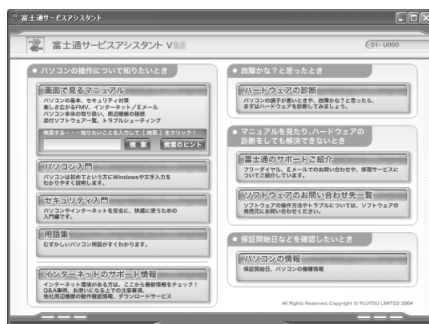
別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（**▶P.24）をご覧ください。

25 そのまましばらくお待ちください。

サービスアシスタントは初めて起動したときだけ、起動するまでにしばらく（約5分間）時間がかかる場合があります。



26 サービスアシスタントが起動します。



これがサービスアシスタントのトップ画面です。サービスアシスタントの使い方については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」→「サービスアシスタント」で調べる」をご覧ください。

電源を切らずに次のページへ

27 ここでは、サービスアシスタントのトップ画面でをクリックし、サービスアシスタントを終了します。




POINT

これ以降、サービスアシスタントを起動するには
キーボードの「サポート」ボタンを押してください。

POINT


ソフトウェアを起動するには

ソフトウェアは、@メニューから起動してください（@メニューには、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から起動できないソフトウェアも登録されています）。

詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「基本的な使い方を覚えよう」→「ソフトウェアを起動する」→「@メニュー」を使って起動する」をご覧ください。

最新のサポート情報をインターネットでご案内しています

サービスアシスタントには、インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。

この後の手順「インターネットを始めるための準備をする」（▶P.64）をご覧ください。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう（▶P.59）。

2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠ 注意



・ CD や DVD をセットまたは取り出す場合は、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。



・ 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。

電源を切る

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

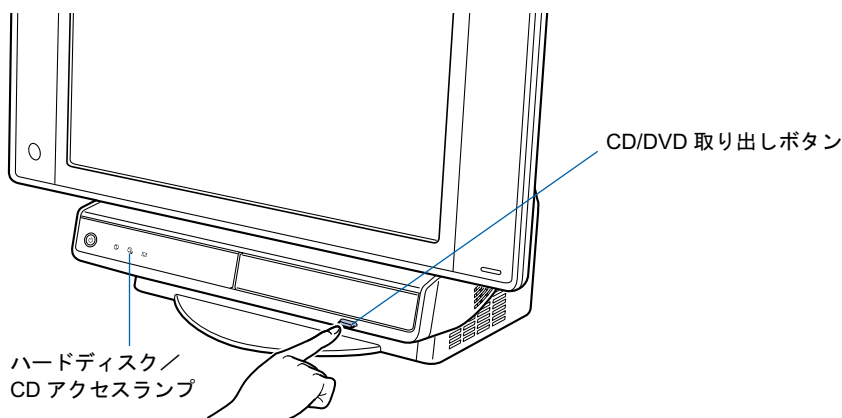
ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままでもこれ以降の操作を進められますが、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤動作の原因となるので、あらかじめソフトウェアを終了しておくことをお勧めします。

2 CD、DVD などがセットされていたら、パソコン本体前面の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押して取り出します。

CD、DVD などを取り出したら、パソコン本体前面の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押して、トレイを戻します。

■パソコン本体前面



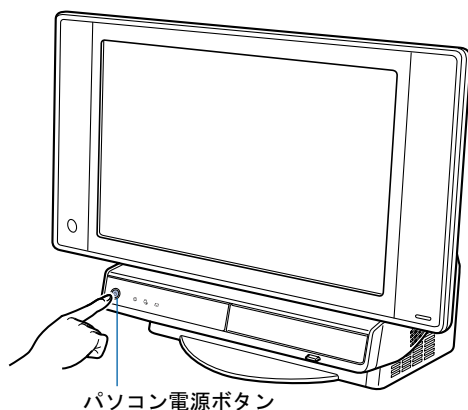
POINT

CD や DVD などを入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD などは取り出せません。

3 パソコン電源ボタンを押します。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。



重要

パソコン電源ボタンは押し続けしないでください

パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、Windows などの正常な終了処理ができないまま、強制的にパソコン電源が切れてしまいます。

POINT

パソコン電源を切る方法はいろいろあります

・「スタート」ボタンからパソコン電源を切る

1. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
2. 「電源を切る」をクリックします。
しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。

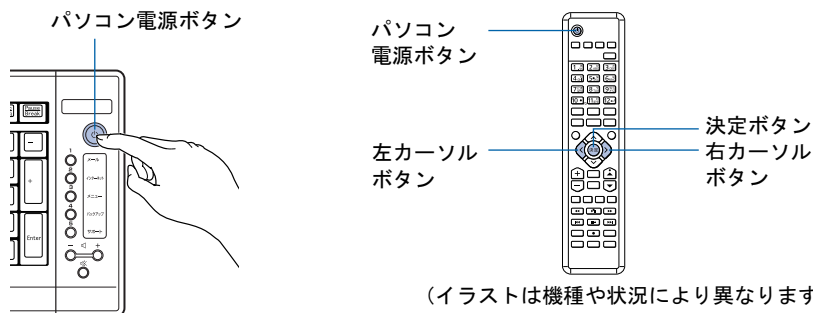
・ワイヤレスキーボードでパソコン電源を切る

1. ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンを押します。
しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。

・リモコンでパソコン電源を切る

1. リモコンのパソコン電源ボタンを押します。
「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。
2. リモコンの<（左カーソル）ボタンまたは>（右カーソル）ボタンを押して「電源を切る」を選択し、決定ボタンを押します。
しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。

■ワイヤレスキーボードの場合 ■リモコンの場合

**パソコン電源が切れない場合**

パソコンが動かなくなり（マウスやキーボードが操作できないなど）、パソコン電源が切れないときは、次のように操作してください。

[Ctrl] と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を押してソフトウェアを強制終了し、その後でパソコン電源を切ってください。ソフトウェアの強制終了については、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

強制終了できないときは、パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的にパソコン電源を切ってください。

パソコン電源を切った後、パソコン電源ランプが消えている（パソコン電源が切れている）ことを確認してください。パソコン電源ランプがオレンジ色に点灯しているときは、スタンバイ状態になっているためパソコン電源が切れていません。もう一度パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコン電源を切ってください。

Windows の終了時間を短くするには

Windows を終了する際に「インスタント MyMedia」の設定を行っているため、Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかります。Windows の終了時間を短くしたい場合は、BIOS の「詳細」メニューの「インスタント MyMedia」を「使用しない」に設定してください。

BIOS の操作方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「BIOS の設定」→「BIOS セットアップ」の操作のしかた」をご覧ください。

4 パソコンに接続されている機器の電源を切ります。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう（▶P.62）。

電源を入れる





重要

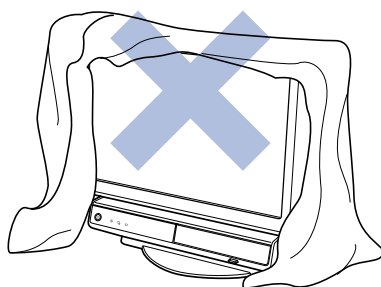
パソコン電源を入れるときの注意

- ・ パソコン電源を切った後は、次にパソコン電源を入れ直すまで10秒ほどお待ちください。
- ・ パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してからパソコン電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良や本体カバーの変形が起きることがあります。

しばらく操作しないと

パソコン電源を入れた状態でしばらく（約5分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、パソコン電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの     や **[Shift]** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。



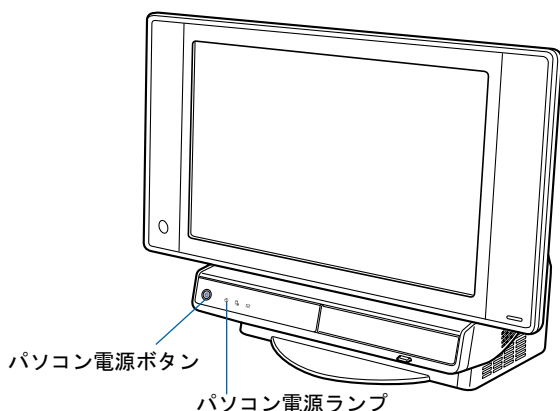
- 1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。
- 2 電源ケーブルがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

重要

コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

- 3 パソコン電源ボタンを押します。
パソコン電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

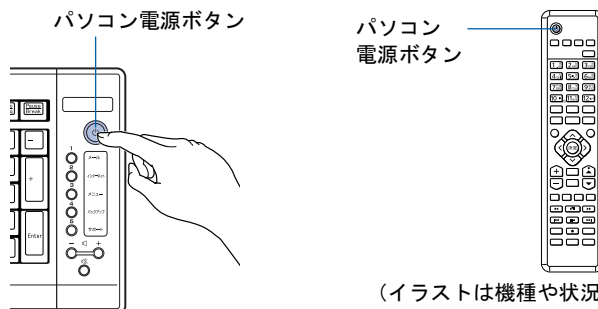


POINT

パソコン電源を入れる方法はいろいろあります

- ・ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンでもパソコン電源を入れることができます。
- ・リモコンのパソコン電源ボタンなどでもパソコン電源を入れることができます。

■ワイヤレスキーボードの場合 ■リモコンの場合



(イラストは機種や状況により異なります)

4 このような画面が表示されたことを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

POINT

Windows が起動しない場合

パソコン電源を入れても Windows が起動しないときは、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない [DESKPOWER]」をご覧ください。

続いて、インターネットを始めるための準備をしましょう (▶P.64)。

3 インターネットを始めるための準備をする

このパソコンでインターネットやオンラインユーザー登録を利用するためには、インターネットに接続するための準備が必要です。

なお、初めてインターネットに接続するときには、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。

初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策


このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続するときには、インターネットの接続設定が終わった後、必ずパソコンを最新の状態（▶▶P.66）にし、セキュリティ対策（▶▶P.69）を行ってください。

インターネット接続の設定

インターネットの接続方法には、一般的に次の方法があります。

- ・ 一般の電話回線（アナログ）
- ・ ISDN 回線
- ・ ADSL
- ・ ケーブルテレビ（CATV）
- ・ 光ファイバー（FTTH）

それぞれの設定方法については、各プロバイダや回線事業者から提供される書類や、各機器のマニュアルを必ずご覧ください。

また、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6 . インターネット / E メール」→「インターネットに接続するための設定」→「インターネットに接続するまでの流れ」もあわせてご覧ください。

重要

内蔵モデムで長時間インターネットに接続する場合

ソフトウェアを起動したままインターネットに長時間接続していると、パソコンの CPU に高い負荷がかかり、内蔵モデムでの通信が切断される場合があります。このような場合は、ブラウザやメールソフト以外のソフトウェアを終了してからもう一度インターネットに接続してください。

 **POINT****今までお使いになっていたパソコンの設定を移行する場合は**

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットやEメールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。詳しくは、「このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合」(●▶P.79)をご覧ください。

続いて、Windows Update を実行して Windows を最新の状態にしましょう (●▶P.66)。

4 Windows を最新の状態にする

インターネットに接続できるようになったら、インターネットに接続した状態で「Windows Update」を実行してください。

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるマイクロソフト社が提供するサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくするための対策（パッチをあてると言います）もされます。

「Windows Update」を実行する

ここでは、「Windows Update」の中の重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムを手動でインストールする方法について説明します。

なお、ご購入時の設定では、インターネットに接続しているときに、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムは自動更新するように設定されています。

重要

Windows Update について

「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

POINT

「情報バー」という画面が表示されたら

「OK」をクリックします。

「セキュリティ警告」という画面が表示されたら

「はい」をクリックします。

「セキュリティの警告」という画面が表示されたら

発行元が Microsoft になっていることを確認し、「インストール」をクリックします。

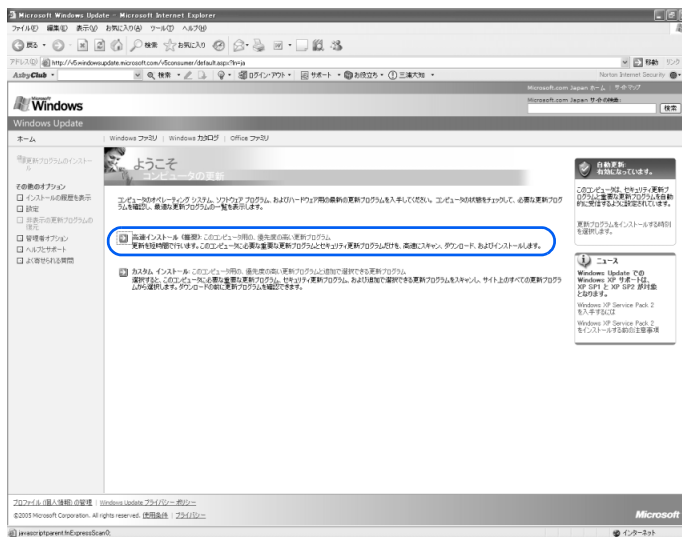


「続行しますか?」という画面が表示されたら

「インターネットへ情報を送信するときに、その情報を他の人から読み取られる可能性があります。続行しますか?」という画面が表示される場合があります。「Windows Update」を実行するときは、「はい」をクリックしてください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。

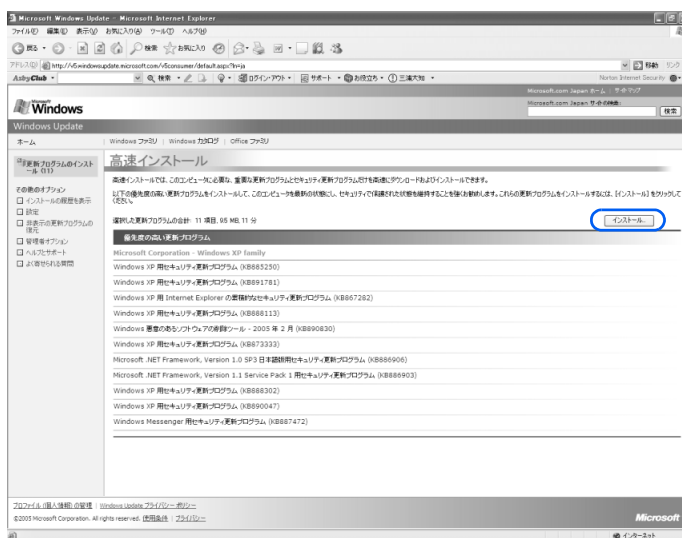
「Windows Update」の画面が表示されます。



2 「高速インストール」をクリックします。

パソコンの状態をチェックし、更新プログラムの一覧を表示します。

3 優先度の高い更新プログラムの一覧が表示されたら、「インストール」をクリックします。



POINT

「利用可能な更新プログラムはありません」と表示されたら

現在公開されている優先度の高い更新プログラムはすべて適用されていますので、この後の手順は必要ありません。手順6 (▶P.68) に進んでください。

次のページへ

4 この後は、表示される画面に従って操作してください。

POINT


使用許諾契約書の画面が表示されたら

インストールする更新プログラムによっては、使用許諾契約書の画面が表示される場合があります。内容をよくお読みになり、「同意します」をクリックします。

5 「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。

POINT

「更新を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されたら


1. 「今すぐ再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。
この場合、手順6（▶P.68）は必要ありません。



6 「Internet Explorer」のをクリックします。

重要

ダイヤルアップ接続の方は

ダイヤルアップ接続の方は、「Internet Explorer」を閉じた後、「自動切断」ウィンドウで「今すぐ切断する」をクリックします。

回線が切断され、画面右下の通知領域からが消えます。

画面右下の通知領域のが消えないときは、を右クリックして、「切断」をクリックします。

続いて、ウイルス対策ソフトの初期設定をしましょう（▶P.69）。

5 ウイルス対策ソフトの初期設定をする

「Windows Update」を実行したら、インターネットに接続した状態でウイルス対策ソフトの初期設定を行ってください。

このパソコンには、「Norton AntiVirus」というウイルス対策ソフトが用意されています。「Norton AntiVirus」は、パソコンをコンピュータウイルスから守るためのソフトウェアです。ウイルスを発見し駆除するウイルス定義ファイルは、常に最新のものに更新できるので、次々と現れる新種のウイルスにも威力を発揮します。

「Norton AntiVirus」の初期設定

ここでは、「Norton AntiVirus」の初期設定を行います。

「Norton AntiVirus」の初期設定が終わらないと、ウイルスや不正アクセスからパソコンを保護することができません。必ずこのマニュアルの手順どおりに進めてください。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Norton AntiVirus」→「Norton AntiVirus 2005」をクリックします。

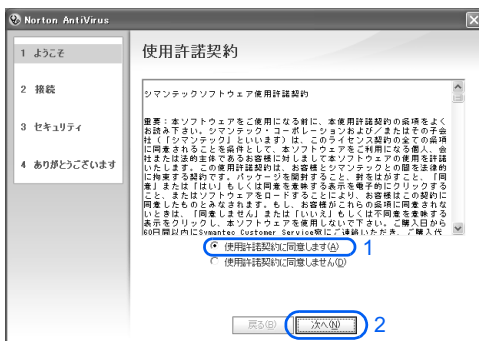
「Norton AntiVirus」画面が表示されます。

- 2 「次へ」をクリックします。



(これ以降の画面は状況により異なります)

- 3 1 使用許諾契約の内容をご覧になり、「使用許諾契約に同意します」をクリックして☑にし、2 「次へ」をクリックします。



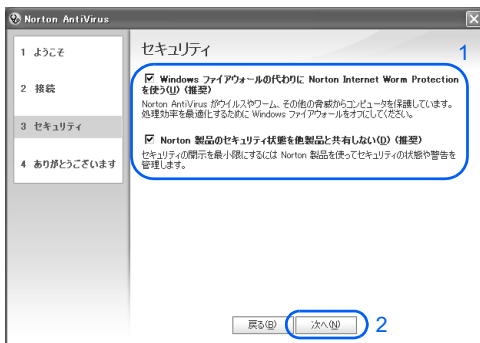
次のページへ

4 Norton AntiVirus 更新サービスの有効期限を確認し、「次へ」をクリックします。

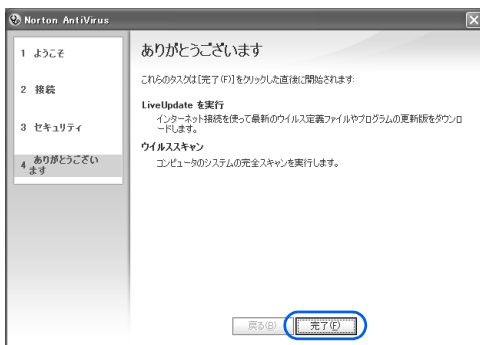


5 1 すべてのチェックボックスが☑になっていることを確認し、2 「次へ」をクリックします。

☐になっている場合は、☐をクリックして☑にしてください。



6 「完了」をクリックします。



「LiveUpdate」画面が表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

最新のウイルス定義ファイルを検索します。次の画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。



8 「次へ」をクリックします。

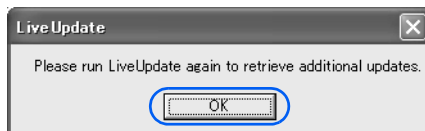
更新されたソフトウェアや最新のウイルス定義ファイルのインストールが始まります。次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



重要

「Please run LiveUpdate again to retrieve additional updates.」という画面が表示されたら

次の画面が表示されたら、「OK」をクリックしてください。



9 「完了」をクリックします。



次のページへ

10 Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、メッセージに従って、パソコンを再起動します。

パソコンが再起動します。パソコンが起動すると、パソコンがウイルスに感染していないかチェックするために「Norton AntiVirus」のウイルススキャンが自動的に始まります。ウイルススキャンが完了するまでかなり時間がかかることがありますので、そのままお待ちください。



重要

「コンピュータセキュリティを監視しているのは」という画面が表示されたら 次の画面が表示されたら、1 になっていることを確認し、2 「OK」をクリックします。 になっている場合は、 をクリックして にしてください。



しばらく操作しないと

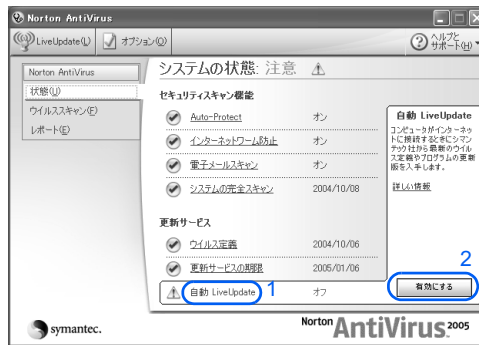
電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの や のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

11 「完了」をクリックします。



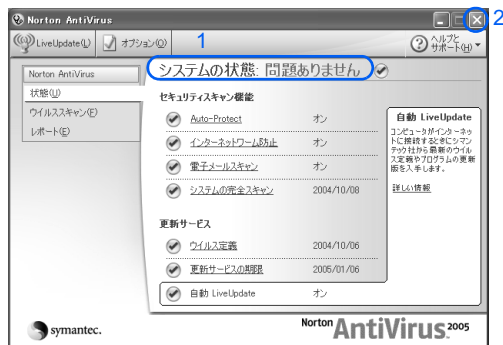
12 1 「更新サービス」にある「自動 LiveUpdate」をクリックして、2 画面右側の「有効にする」をクリックします。



自動 LiveUpdate がオンになります。

他にも、表示されている項目で「オフ」になっているものがある場合には、項目名をクリックして「有効にする」をクリックしてください。


13 「Norton AntiVirus」画面で 1 「システムの状態：問題ありません」と表示されていることを確認し、2 画面の右上にある をクリックします。



「Norton AntiVirus」画面が閉じます。

これでウイルス対策ソフトの初期設定が完了しました。


■ お問い合わせ先

「Norton AntiVirus」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート＆サービスのご案内』→「ソフトウェアについて困ったときは」→「ソフトウェアのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

初期設定が完了したら

画面右下の通知領域にあるアイコンが次のように変わったことを確認してください。


- ・  (Norton AntiVirus) のアイコンが、 になります。

今後もいつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」の「ウイルス定義ファイルの更新」と「Windows Update」などのセキュリティ対策を心がけましょう。詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「セキュリティ対策をする」→「セキュリティ対策」をご覧ください。

続いて、ユーザー登録をしましょう（●▶P.74）。

6 ユーザー登録をする

インターネットに接続し、セキュリティ対策が完了したら、パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

お客様の情報、およびご購入いただいた FMV の機種情報を登録していただくことでお客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスをご提供いたします。詳しくは、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、お客様専用の「ユーザー登録番号」と「パスワード」が発行されます。また、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub (アズビィクラブ)」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。

AzbyClub とは、お客様に FMV を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です (2 年目以降も無料)。

■ FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

お客様がお使いのパソコンに関する情報や、サポートおよび活用情報が満載です。また、会員向けのショッピングサービスやお得なキャンペーン情報もご紹介します。

<http://azby.fmworld.net/>

■ 技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、AzbyClub ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

■ AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

■ AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。AzbyClub ホームページの「ショッピング」や「富士通ショッピングサイト WEB MART」でご利用いただけます。

■ AzbyClub カード

ユーザー登録番号 (AzbyClub 会員番号) が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の2種類があります。
ユーザー登録をする方法については、☞『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

■ ホームページからのユーザー登録

インターネットのFMVユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。
インターネットに接続できる環境が必要です。

■ 専用プログラムによるユーザー登録

「FMV オンラインユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。
電話回線を使って通信します。

POINT

ユーザー登録番号やパスワードを忘れてしまったら

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページでユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行ができます。

ユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行の方法については、☞『サポート&サービスのご案内』→「FMVユーザー登録をする」→「ユーザー登録番号やパスワードを忘れたときには」をご覧ください。

7 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

- 1 「機種名を確認してください」 (●▶P.24)**
お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。
- 2 「使用上のお願い」 (●▶P.25)**
このパソコンの取り扱いにあたっての大切な注意事項です。確認してください。
- 3 「接続する」 (●▶P.33)**
必要な機器が取り付けられているか、確認してください。
- 4 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」 (●▶P.45)**
初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。
- 5 「電源の切り方と入れ方」 (●▶P.59)**
必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。
- 6 「インターネットを始めるための準備をする」 (●▶P.64)**
お客様の環境にあった接続方法を選択して接続してください。
- 7 「Windows を最新の状態にする」 (●▶P.66)**
Windows Update を実行し、Windows を最新の状態にしてください。
- 8 「ウイルス対策ソフトの初期設定をする」 (●▶P.69)**
ウイルス対策ソフトの初期設定をして、セキュリティ対策を行ってください。
- 9 「ユーザー登録をする」 (●▶P.74)**
パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』をお読みください。『FMV 活用ガイド』では、パソコンをお使いになる前に確認していただきたいこと、覚えておくと便利なこと、情報の探し方やトラブルの対処法など、FMV を活用するためのさまざまな情報を紹介しています。

『FMV 活用ガイド』の主な内容

第1章 準備が完了したことを確認しよう

パソコンの準備がすべて完了しているか、この章で再度確認します。

第2章 基本的な使い方を覚えよう

パソコンの基本操作、ホームページの見かたやEメールの基本操作がわかります。

第3章 セキュリティ対策をする

ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について紹介しています。

第4章 バックアップで大切なデータを守る

大切なデータの予備をとる（バックアップする）方法について説明しています。

第5章 FMV のおすすめ活用法

FMV に搭載されているソフトウェアを使ってできる、楽しい活用法を紹介しています。また、FMV を最新の状態にする方法も紹介しています。

第6章 パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

パソコンを使いこなすための情報がある、「パソコンの画面で見るマニュアル」の使い方や調べ方を紹介しています。

第7章 トラブルかなと思ったら（Q&A）

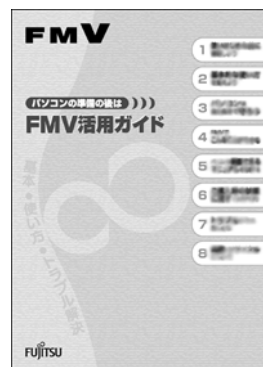
電源が入らないトラブル・画面が表示できないトラブルを中心に、パソコンを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

第8章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ハードディスクを初期状態に戻し、Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す方法を説明しています。

第9章 廃棄・リサイクルについて

このパソコンや使用済み乾電池・バッテリーを廃棄するときの注意事項などが書かれています。また、破棄する前に、ハードディスクのデータを消去する方法も説明しています。



テレビや「インスタント MyMedia」について知りたいときは『FMVで見る・録る・残すガイド』へ

このパソコンでテレビやDVDを見たり、CDなどを聴いたりする方法については、『FMVで見る・録る・残すガイド』をご覧ください。このパソコンでテレビやDVDを見たり、CDなどを聴いたりする前に確認していただきたいことや具体的なテレビの利用方法、トラブル時の対処方法について紹介しています。

『FMVで見る・録る・残すガイド』の主な内容

- 第1章 このパソコンでできること
- 第2章 準備をする
- 第3章 すぐにテレビ/DVD/CDなどを楽しむ
- 第4章 パソコンを使いながらテレビ/DVD/CDを楽しむ
- 第5章 デジタル放送を楽しむ
- 第6章 困ったときのQ&A



このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットや E メールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。

このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行するときにお使いください。

使用上の注意

「PC 乗換ガイド」をお使いになる場合には、次の点にご注意ください。

- ・今までお使いになっていたパソコンが、次の OS の場合のみお使いいただけます。
 - Microsoft® Windows® XP Home Edition
 - Microsoft® Windows® XP Professional
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional
 - Microsoft® Windows® Millennium Edition
 - Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION
 - Microsoft® Windows® 98
- ・「PC 乗換ガイド」を実行すると、このパソコンに設定した情報やデータに、お使いになっていたパソコンの情報が上書きされます。

「PC 乗換ガイド」は、このパソコンに設定などを行う前に実行してください。

「インターネットを始めるための準備をする」(●▶P.64)の前に、「PC 乗換ガイド」を実行されることをお勧めします。

「PC 乗換ガイド」の起動

1 「@メニュー」を起動します。

次のいずれかの操作で起動できます。

- ・キーボードの「メニュー」ボタンを押す。
- ・「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックする。

2 「@メニュー」で上部の「名前でさがす」をクリックし、「安心・サポート」をクリックします。

3 「PC 乗換ガイド」をクリックします。

4 これ以降は、画面の指示に従って操作してください。

この後の章では、メモリの増やし方(●▶P.85)、仕様一覧(●▶P.101)などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

Memo

5

第 5 章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器をお使いになる前に	82
2 メモリの増設／交換	85
3 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	92
4 リモコンについて	98

1 周辺機器をお使いになる前に

ここでは、メモリ、キーボード、マウス、リモコンなどの周辺機器をお使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明します。

警告



・周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

メモリ、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。パソコン本体内部に取り付けたり、パソコンの各コネクタに接続したりします。


ここでは、このパソコンに添付されているキーボード、マウス、リモコンも含めて説明しています。

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。

また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、Eメールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方は、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8. 周辺機器の接続」または「7. パソコン本体の取り扱い」に記載されています。また、本マニュアル内では、次の周辺機器についても記載しています。

「メモリの増設／交換」(●▶P.85)

「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」(●▶P.92)

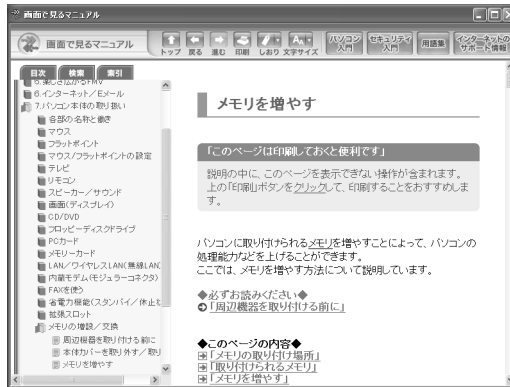
「リモコンについて」(●▶P.98)

お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

「画面で見るマニュアル」で調べる

1 表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。

例えば、メモリを取り付ける場合は、「7. パソコン本体の取り扱い」→「メモリの増設/交換」→「メモリを増やす」をクリックします。



POINT

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

「画面で見るマニュアル」の使い方については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」をご覧ください。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- ・ 周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします

純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。

純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。
- ・ Windows のセットアップは終了していますか？

「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」(●▶ P.45) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。

なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けしないでください。セットアップが正常に行われぬおそれがあります。
- ・ 周辺機器に添付のドライバがお使いの Windows に対応しているか確認してください

お使いになる周辺機器のドライバがお使いの Windows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。
- ・ ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合

周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。その場合は、オプションの FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。

- ・ **ACPIに対応した周辺機器をお使いください**

このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の1つ）によって電源制御を行っていますので、周辺機器もACPIに対応している必要があります。

ACPIに対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器がACPIに対応しているかどうかは、周辺機器メーカーにお問い合わせください。

また、このパソコンのACPIモードは、スタンバイ（ACPI S3）に設定されています。

- ・ **一度に取り付ける周辺機器は1つだけに**

一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバのインストールなどが正常に行われずおそれがあります。1つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。

- ・ **パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください**

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」（▶▶ P.59）をご覧ください。

- ・ **電源を切った直後は作業をしないでください**

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後10分ほど待ってから作業を始めてください。

- ・ **電源ユニットは分解しないでください**

電源ユニットは、パソコン本体内部の背面側にある箱形の部品です。

- ・ **内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください**

傷付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。

- ・ **静電気に注意してください**

内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。

- ・ **基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください**

金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。

- ・ **周辺機器の電源について**

周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。

- ・ **ドライバーを用意してください**

パソコン本体の本体カバーなどの取り外しには、プラスのドライバーが必要です。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズに合ったドライバーをご用意ください。

2 メモリの増設／交換

パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

メモリの取り付け場所

メモリは、パソコン本体内部のメモリスロットに取り付けます。
ご購入時の状態やメモリの増やし方は、お使いのパソコンによって異なります。

■ LX90L/D,LX70L,LX50L をお使いの方

ご購入時は、メモリスロット1と2にそれぞれ256MBのメモリが1枚ずつ取り付けられています。メモリは、最大1GB(512MB×2枚)まで増やせます。

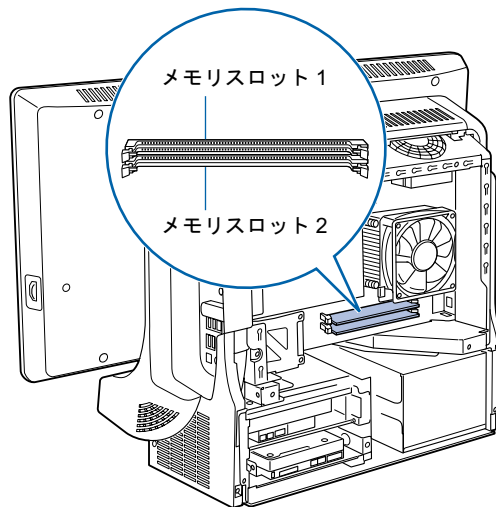
メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ(メモリスロット1、2)を取り外して交換します。

■ LX90LN,LX50LN をお使いの方

ご購入時に選択したメモリが取り付けられています。メモリは、最大1GB(512MB×2枚)まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ(メモリスロット1、2)を取り外して交換します。

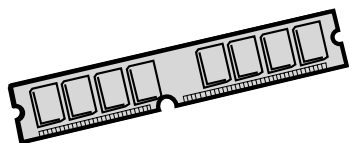
1GBのメモリを選択した方は、これ以上メモリ容量を増やすことはできません。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

取り付けられるメモリ

お使いになれるメモリは次の種類です。



- ・種類: DDR2(ディーディーアール2)SDRAM(エスディーラム)DIMM(ディム)(SPD付き)
- ・メモリバスクロック: PC2-4200 (533MHz)
- ・ピン数: 240ピン
- ・容量: 256MB、512MB
- ・ECC: なし

重要

メモリバスクロックについて

このパソコンに取り付けるメモリは、PC2-4200対応(DDR2)またはPC2-4300対応(DDR2)のものをお使いください。

POINT

SPD (エスピーディー)

Serial Presence Detect の略で、メモリの機能のひとつです。

必ず SPD 付きのメモリをご購入ください。なお、弊社製の DIMM は、SPD 付きです。

ECC (イーシーシー)

Error Correcting Code の略で、データの中の誤りを検出し、訂正する機能のことです。

このパソコンでは使いません。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。

次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

■ LX90L/D,LX70L,LX50L をお使いの方、および LX90LN,LX50LN で 512MB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1 (DIMM1)	メモリスロット 2 (DIMM2)
512MB (ご購入時)	256MB	256MB
1GB (最大)	512MB [注1] [注2]	512MB [注1] [注2]

注1: あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

注2: デュアルチャネルで動作させるには、弊社純正品の同じ容量のメモリを2枚1組で取り付けてください。

メモリの取り扱い上の注意

⚠ 警告



- ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



- ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

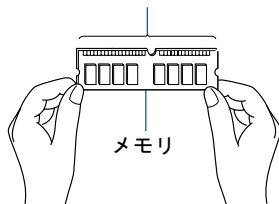


- ・基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

- ・メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- ・メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留まった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- ・メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- ・メモリの表面の端子やIC部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- ・メモリは下図のようにふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

この部分には手を触れないでください。



- ・パソコン本体の電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。手順2(●▶P.88)の後で、必ず電源プラグをコンセントから抜いたことを確認してください。

メモリを増やす

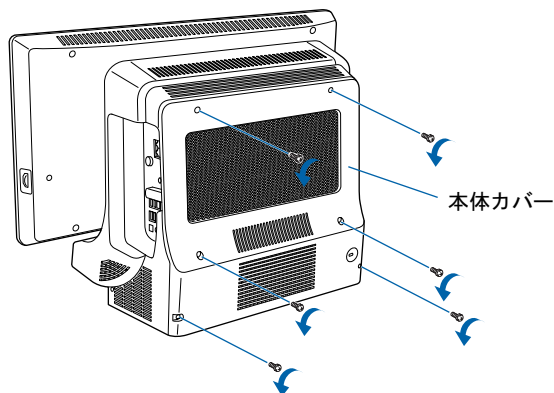
ここでは、メモリを増やす方法を説明します。

POINT

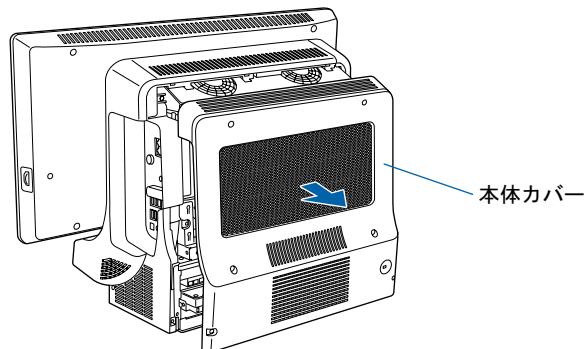
メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

FMV 活用サイト AzbyClub (アズビィクラブ) ホームページ (<http://azby.fmworld.net/>) で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

- 1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 本体カバーのネジ (6ヶ所) をプラスのドライバーで外します。



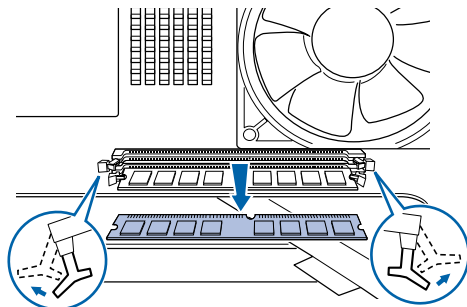
- 4 本体カバーを取り外します。



- 5 メモリの取り付け場所とメモリ容量の組み合わせを確認します。

メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」(●▶P.85) をご覧ください。
メモリの容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」(●▶P.86) をご覧ください。

6 メモリスロット1の両側のフックを外側へ開いて、メモリを引き抜きます。



重要

メモリを取り外すときの注意

- ・メモリスロットの両側のレバーを外側を開くときに、指をはさまないようにご注意ください。
- ・フックを勢いよく外側へ開くと、メモリが飛び出し、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

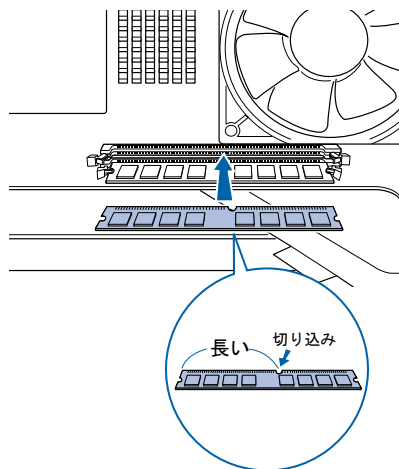
7 手順6と同様に、メモリスロット2のメモリを引き抜きます。

8 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。 メモリスロット2、メモリスロット1の順に差し込みます。

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうを左側に向けて、メモリスロット正面からまっすぐに差し込んでください。

メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。

必ず、メモリがロックされたことを確認してください。



重要

メモリを取り付けるときは

- ・端子やICに触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- ・メモリの表面の端子やIC部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないでください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようとすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

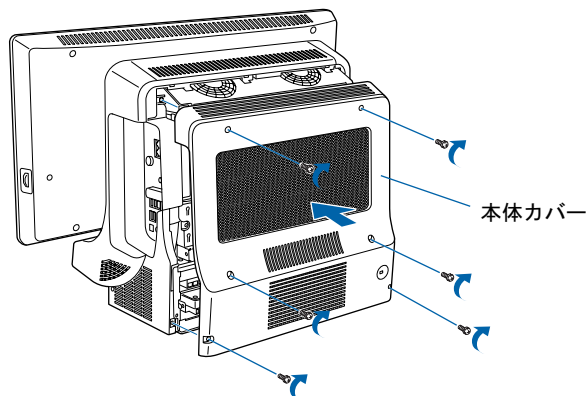
メモリの向きについて

メモリの方向をよく確認して正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障の原因となります。

次のページへ

9 本体カバーを取り付け、手順 3 (●▶P.88) で外したネジ (6ヶ所) で固定します。

ネジは固く締めすぎないようにしてください。



この後、「メモリ容量を確認する」(●▶P.90) をご覧になり、取り付けしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、増やしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。必ず、本体カバーを取り付けてから確認作業を行ってください。

1 パソコン本体の電源を入れます。

「電源を入れる」(●▶P.62) をご覧ください。

POINT

画面に何も表示されないときは

メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。

その場合は、パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 パソコンが起動したら、「スタート」ボタンをクリックします。

3 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 丸で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

画面は、512MB のメモリ 2 枚に交換して、1GB に増やした例です。

このパソコンでは、メモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、8MB 少なくな表示されます。

SCSI カードの増設などお使いのシステム構成によっては 1 ~ 2MB 少なくな表示される場合があります。

5 「OK」をクリックします。

メモリ容量の数値が増えていなかった場合は、次のことを確認してください。

- ・増やしたメモリがこのパソコンで使える種類のものか
「取り付けられるメモリ」(●▶P.86)
- ・メモリがメモリスロットにきちんと差し込まれているか
「メモリを増やす」(●▶P.88)
- ・正しいスロットに取り付けられているか
「メモリの取り付け場所」(●▶P.85)
- ・メモリを正しく組み合わせているか
「メモリの組み合わせ表」(●▶P.86)

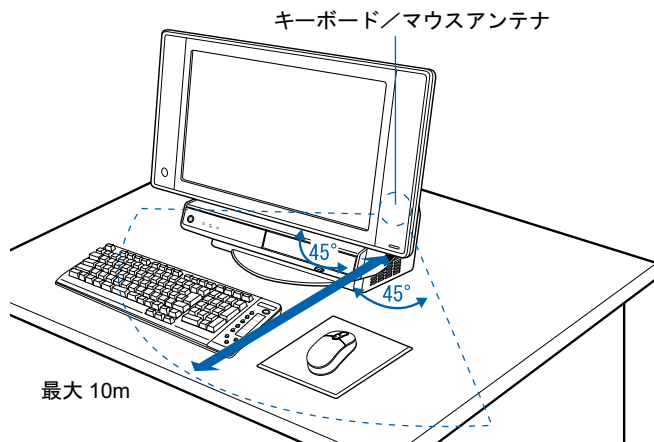
3 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定

ここでは、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定する方法などを説明します。

使用に適した配置

ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスは、次のような場所でお使いください。なお、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード／マウスアンテナは、パソコン本体に内蔵されています。

- ・机の上など平らで安定した場所
- ・パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースが取れる場所
- ・パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度の範囲

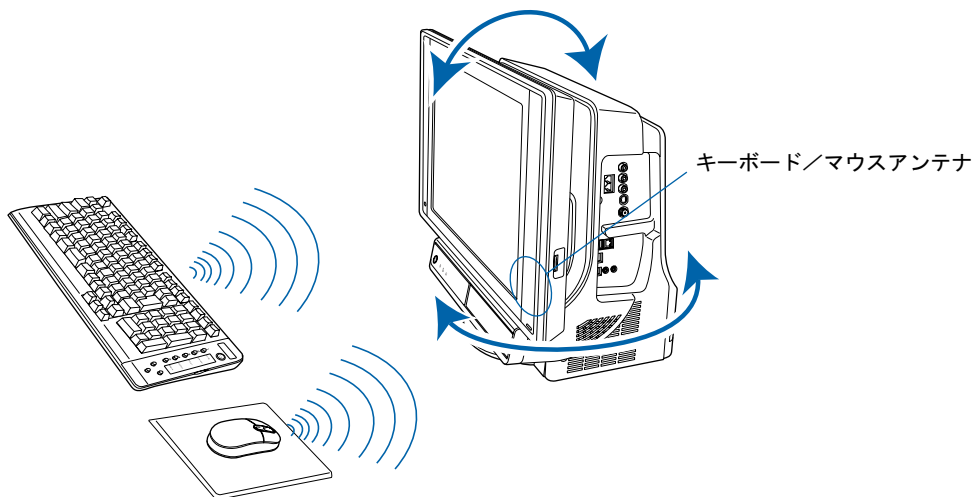


重要

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになるときの注意事項

- ・ 次のような環境では、周囲からの電波を受けて、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
 - ・ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの送信部とキーボード／マウスアンテナとの距離が離れすぎている場合
 - ・ パソコン本体とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
 - ・ パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
 - ・ 周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
 - ・ パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
 - ・ 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合（パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
 - ・ パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
 - ・ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合

このような場合には、パソコン本体の向きや位置を変えたり、パソコン本体の液晶ディスプレイの傾きを調整したり、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定しなおしたりすることによって、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが正常に動作する状態でお使いください。

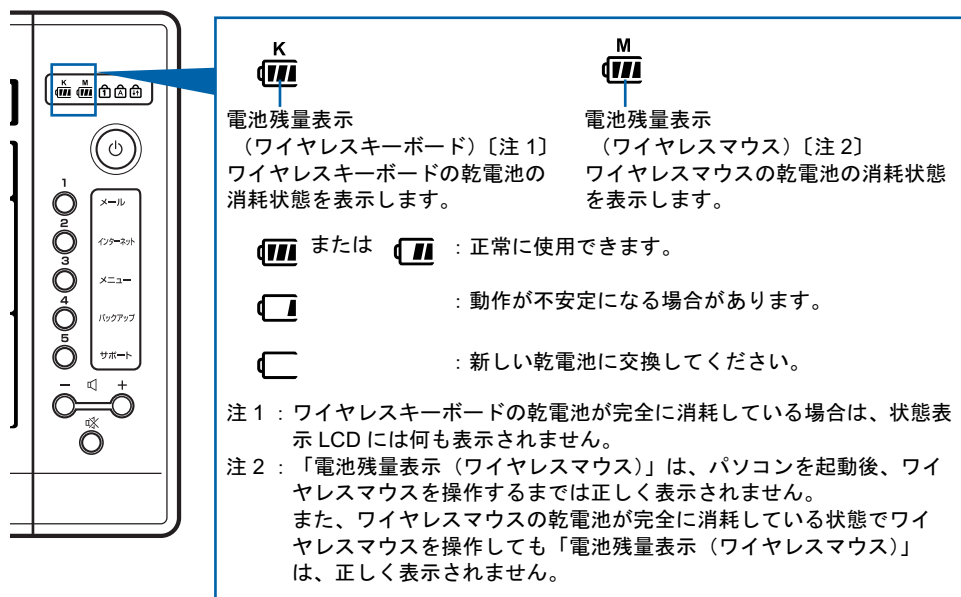


- ・ ワイヤレスマウスは電池の消耗を抑えるため、動かさない状態が約 10 秒続くと光学センサーを完全に消灯しスリープモードに入りますが、振動の検出によりスリープモードから復帰します。そのため、ワイヤレスマウスには振動を検出するためのモーションセンサーが内蔵されています。ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がしますが、これはモーションセンサーの振動検出機構の音であり、故障ではありません。そのままお使いください。

乾電池について

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの乾電池について説明します。

- ・ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
- ・乾電池の寿命の目安は、毎日2時間の使用で、ワイヤレスキーボードは約6ヶ月、ワイヤレスマウスは約3ヶ月です。
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。
乾電池の交換時には、市販の単3型アルカリ乾電池2本をご使用ください。
- ・必ずアルカリ乾電池をお使いください。
アルカリ乾電池以外の乾電池（マンガン乾電池、充電式乾電池など）をお使いになると、十分な機能・性能で動作しない場合があります。
- ・パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。
パソコン本体の電源が入っていても、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが動作していると乾電池が消費されます。また、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの上に物を載せたままにしないようご注意ください。
- ・長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用せずに放置していても、乾電池が消費されます。長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの乾電池の消耗状態は、ワイヤレスキーボードの状態表示LCDに表示されるインジケータをご覧になり、消耗している場合はお早めに新しい乾電池に交換してください（表示は目安です）。なお、ワイヤレスキーボードの乾電池が完全に消耗している場合は、状態表示LCDには何も表示されません。



乾電池を交換する

⚠ 注意



・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。



・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの乾電池を交換する方法については、「キーボード／マウスを準備する」(▶▶P.34)をご覧ください。

🔍 POINT

乾電池の使用推奨期限を確認してください

乾電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

ID 設定をする

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの ID 設定方法について説明します。

ID は、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの電波の混信や誤動作を避けるため、対となっているパソコン本体との間でしかワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが動作しないように設定する識別子です。ご購入時は ID は設定されていませんので、ご使用前に必ず設定してください。設定を行わないと使用できません。

🔑 重要

設定をする前に確認してください

- ・「使用上のお願い」(▶▶P.25) をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。
- ・パソコン電源を入れた状態で設定してください。パソコン電源が入っていないときや、省電力機能が働いているときは設定することはできません。

乾電池の交換などで乾電池を抜いても ID 設定は保持されます

乾電池の交換などで乾電池を抜いても、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID 設定値は保持されます。再設定する必要はありません。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが使えなくなったときなどは

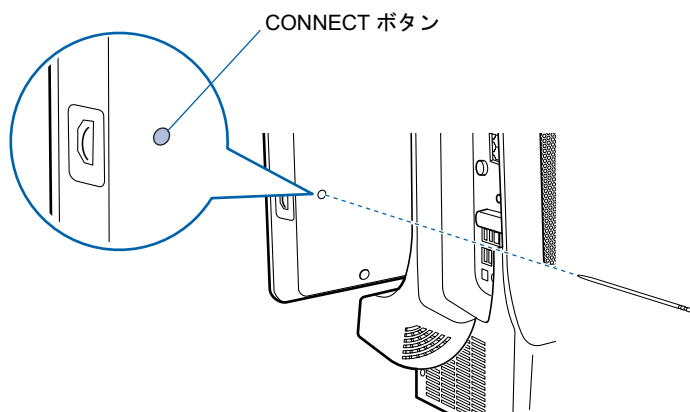
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが使えなくなったときや、このパソコンを複数台お使いの場合で混信や誤動作するときは、再度 ID 設定を行ってください。

ワイヤレスキーボードの ID 設定をする

1 パソコン本体背面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。

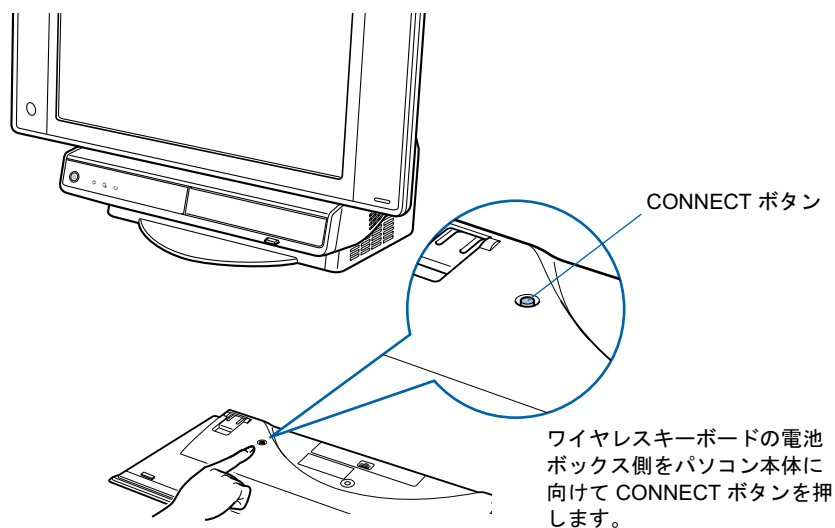
■ パソコン本体背面



2 ワイヤレスキーボード裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押します。 指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。

パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから、約 10 秒以内に押してください。

ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスキーボードを操作します。

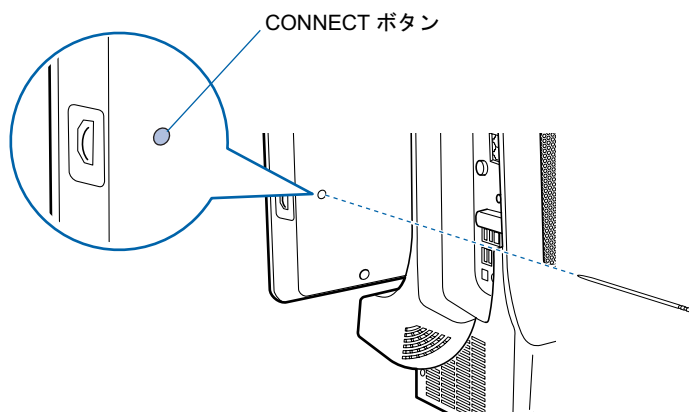
ワイヤレスキーボードの状態表示 LCD が点灯するか、ワイヤレスキーボードを操作して正常に動作すれば設定完了です。状態表示 LCD が点灯しない、または正常に動作しない場合は、手順 1 (▶▶P.96) からもう一度設定を行ってください。

ワイヤレスマウスの ID 設定をする

1 パソコン本体背面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。

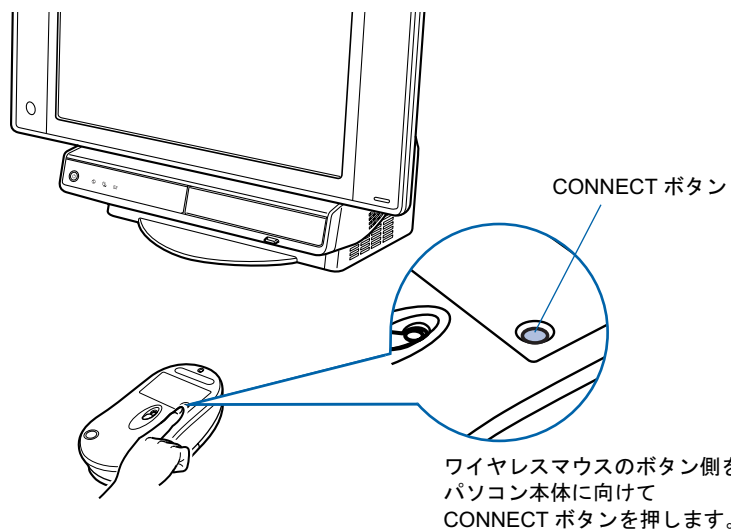
■ パソコン本体背面



2 ワイヤレスマウス裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押します。 指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。

パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから、約 10 秒以内に押してください。


ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスマウスを操作します。

マウスカーソルを動かし、正常に動作すれば設定完了です。正常に動作しない場合は、手順 1 (▶P.97) からもう一度設定を行ってください。

4 リモコンについて

ここではリモコンをお使いになる際の注意事項、乾電池の交換方法について説明しています。リモコンの操作方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「リモコン」→「リモコンについて」をご覧ください。

重要

添付のリモコンを使用してください

本製品に添付のリモコンを使用して操作してください。

乾電池を交換する

注意



・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。





・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

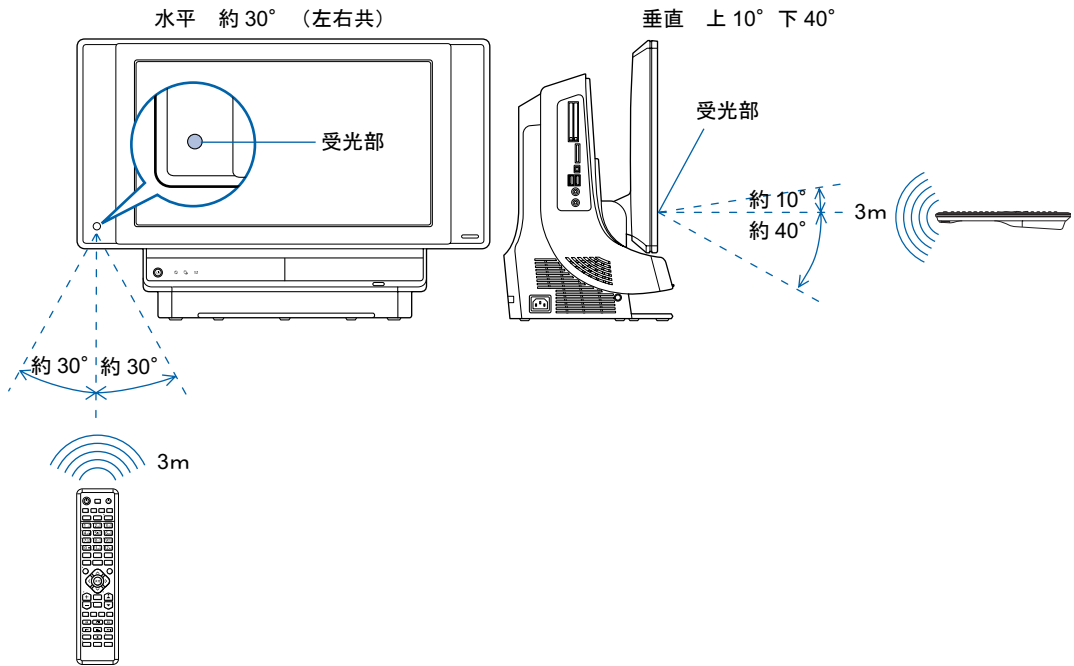
リモコンの乾電池を交換する方法については、「リモコンに乾電池を入れる」([▶P.41](#))をご覧ください。

リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- ・リモコンをお使いになる場合には、リモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に (リモコンマネージャー) が表示されているか、確認してください。リモコンマネージャーについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「9. 添付ソフトウェア一覧 (読み別)」→「らりるれろ」→「リモコンマネージャー」をご覧ください。
- ・信号が受けやすいように、リモコンをパソコン本体の受光部に向けてください。
- ・パソコン本体の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- ・直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- ・リモコンをプラズマディスプレイ/プラズマテレビ/ハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはプラズマディスプレイ/プラズマテレビ/ハロゲンヒーターなどから放射される赤外線により、リモコンとパソコン本体の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。このようなときは、パソコン本体またはプラズマディスプレイ/プラズマテレビ/ハロゲンヒーターなどの設置場所を変更してください。

パソコン本体のリモコン受光部使用可能範囲



(イラストは機種や状況により異なります)

6

第 6 章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	102
2 その他の仕様	107

1 パソコン本体の仕様

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90L/D	FMV-DESKPOWER LX70L	FMV-DESKPOWER LX50L
CPU		インテル® Pentium® 4 プロセッサ 530J 注1 3EGHz	インテル® Celeron® D プロセッサ 340J 2.93GHz	
キャッシュメモリ		1次：12Kμ Ops 実行トレース + 16KB データ、 2次：1MB (CPU 内蔵)	1次：12Kμ Ops 実行トレース+ 16KB データ、 2次：256KB (CPU 内蔵)	
チップセット		インテル® 915GV チップセット		
システム・バス		800MHz	533MHz	
メインメモリ 注2		標準 512MB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし 注3 最大 1GB 注4		
メモリスロット		× 2 (空きスロットなし)		
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵		
	ビデオメモリ	最大 128MB (メインメモリと共用) 注6		
	液晶ディスプレイ 注7	20 型ワイドデジタル液晶		17 型デジタル液晶
	解像度/発色数	最大 1360 × 768 ドット/最大 1677 万色		最大 1280 × 1024 ドット/ 最大 1619 万色 注8
フロッピーディスク ドライブ 注9		FDD ユニット (USB) (別売)		
ハードディスク ドライブ 注10		300GB (Serial ATA/150)		250GB (Serial ATA/150)
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ 注11		
オーディオ機能	オーディオコント ローラ	チップセット内蔵+ AC97 コーデック		
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応		
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート		
通信機能	モデム	データ：最大 56kbps (V.90 規格準拠) 注12 / FAX：最大 14.4kbps		
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠		
テレビ機能	テレビチューナー	受信チャンネル 注13： 地上アナログ VHF (1～12ch)、 UHF (13～62ch)、CATV (C13～C63ch) ステレオ、音 声多重対応、地上デジタル 000～999 注14、BS デジタル 000～999 注14、110 度 CS デジ タル 000～999 注14	受信チャンネル 注13：地上アナログ VHF (1～12ch)、UHF (13～62ch)、CATV (C13～C63ch) ステレオ、音声多重対応	
	録画形式 注15	MPEG2 (ハードエンコード) 注16		
	高画質化機能	3次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション		

注記については、「仕様一覧の注記について」 (**▶ P.106) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90L/D	FMV-DESKPOWER LX70L	FMV-DESKPOWER LX50L
インターフェイス	PCカード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応)		
	SDカード / メモリースティック / xD- ビクチャーカード ^{注17}	× 1 スロット		
	USB ^{注18}	USB2.0 準拠 × 6 (左側面 × 2、右側面 × 4)		
	IEEE1394 (DV)	4 ビン × 1 (S400)		
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)		
	LAN	RJ-45 × 1		
	テレビ	地上アナログアンテナ入力 (F型同軸) × 1、地上デジタルアンテナ入力 (F型同軸) × 1、BS・110度CSデジタルアンテナ入力 (F型同軸) × 1、ビデオ入力 (Sビデオ) × 1、ビデオ入力 (コンボジット) × 1、ビデオ音声入力 (右/左) × 1	地上アナログアンテナ入力 (F型同軸)ビデオ入力 (Sビデオ × 1、コンボジット × 1)、ビデオ音声入力 (右/左) × 1	
オーディオ	マイク: φ3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)、ヘッドホン: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω)、光デジタルオーディオ出力: 角形: 光プラグ、ラインイン: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック			
電源 / 周波数		AC100V 50/60Hz		
消費電力	電源 OFF 時 ^{注19}	4W 以下		3W 以下
	動作時	通常約 186W 最大 270W スタンバイ時約 4W	通常約 150W 最大 270W スタンバイ時約 4W	通常約 118W 最大 200W スタンバイ時約 3W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 ^{注20}		Q 区分 0.00036	Q 区分 0.00037	Q 区分 0.00022
省エネルギー基準達成率		AAA		
外形寸法		W 622 × D270 × H430mm (突起部含まず)		W 530 × D270 × H448mm (突起部含まず)
質量		約 18.0kg		約 16.5kg
盗難防止用ロック		あり		
温湿度条件		温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)		
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注21} (DirectX:9.0c 対応)		
サポート OS		Windows XP Home Edition ^{注22} 、Windows XP Professional ^{注22 注23}		

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.106)をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90LN	FMV-DESKPOWER LX50LN
CPU		インテル® Pentium® 4 プロセッサ 530J 注1	インテル® Celeron® D プロセッサ 340J
		3EGHz	2.93GHz
キャッシュメモリ		1次: 12Kμ Ops 実行トレース+ 16KB データ、 2次: 1MB (CPU 内蔵)	1次: 12Kμ Ops 実行トレース+ 16KB データ、 2次: 256KB (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 915GV チップセット	
システム・バス		800MHz	533MHz
メインメモリ注2★		標準 512MB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注3 最大 1GB注4 / 1GB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注3 最大 1GB注4	
メモリスロット		× 2 (空きスロットなし) 注5	
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	最大 128MB (メインメモリと共用) 注6	
	液晶ディスプレイ注7	20 型ワイドデジタル液晶	17 型デジタル液晶
	解像度/発色数	最大 1360 × 768 ドット/最大 1677 万色	最大 1280 × 1024 ドット/最大 1619 万色注8
フロッピーディスク ドライブ注9		FDD ユニット (USB) (別売)	
ハードディスク ドライブ注10★		250GB / 300GB (Ultra ATA/100)	
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ注11	
オーディオ機能	オーディオコント ローラ	チップセット内蔵+ AC97 コードック	
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応	
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
通信機能	モデム	データ: 最大 56kbps (V.90 規格準拠) 注12 / FAX: 最大 14.4kbps	
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠	
テレビ機能	インスタントテレビ 機能	インスタントテレビ機能搭載	
	テレビチューナー	デジタルチューナーを選択した場合: 受信チャンネル注13: 地上アナログ VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch)、CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応、地上デジタル 000 ~ 999 注14、BS デジタル 000 ~ 999 注14、110 度 CS デジタル 000 ~ 999 注14 デジタルチューナーを選択しなかった場合: 受信チャンネル注13: 地上アナログ VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch)、CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応	受信チャンネル注13: 地上アナログ VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch)、 CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応
	録画形式注15	MPEG2 (ハードエンコード) 注16	
	高画質化機能	3 次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション	

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART (ウェブマート)」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.106) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90LN	FMV-DESKPOWER LX50LN
インターフェース	PCカード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応)	
	SDカード / メモリースティック / xD-ピクチャーカード ^{注17}	× 1 スロット	
	USB ^{注18}	USB2.0 準拠 × 6 (左側面 × 2、右側面 × 4)	
	IEEE1394 (DV)	4 ピン × 1 (S400)	
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)	
	LAN	RJ45 × 1	
	テレビ	デジタルチューナーを選択した場合： 地上アナログアンテナ入力 (F型同軸) × 1、 地上デジタルアンテナ入力 (F型同軸) × 1、 BS・110度CSデジタルアンテナ入力 (F型同軸) × 1、ビデオ入力 (Sビデオ) × 1、ビデオ入力 (コンポジット) × 1、ビデオ音声入力 (右/左) × 1 / デジタルチューナーを選択しなかった場合： 地上アナログアンテナ入力 (F型同軸) × 1、 ビデオ入力 (Sビデオ) × 1、ビデオ入力 (コンポジット) × 1、ビデオ音声入力 (右/左) × 1	地上アナログアンテナ入力 (F型同軸) × 1、 ビデオ入力 (Sビデオ × 1、コンポジット × 1)、 ビデオ音声入力 (右/左) × 1
	オーディオ	マイク：φ3.5mm ミニジャック (入力：100mV以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ以上 (DC) 2kΩ以上)、ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力：1mW以上、負荷インピーダンス 32Ω)、光デジタルオーディオ出力：角形：光プラグ、ラインイン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック	
電源/周波数	AC100V 50/60Hz		
消費電力	電源 OFF 時 ^{注19}	4W 以下	3W 以下
	動作時	通常約 186W 最大 270W スタンバイ時約 4W	通常約 118W 最大 200W スタンバイ時約 3W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 ^{注20}	Q 区分 0.00036		Q 区分 0.00022
省エネルギー基準達成率	AAA		
外形寸法	W479 × D238 × H400 mm (突起部含まず)		
質量	約 18.0kg	約 16.5kg	
盗難防止用ロック	あり		
温湿度条件	温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)		
プレインストール OS	Windows XP Home Edition ^{注21} (DirectX:9.0c 対応)		
サポート OS	Windows XP Home Edition ^{注22} 、Windows XP Professional ^{注22 注23}		

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART (ウェブマート)」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」(▶▶ P.106) をご覧ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 : ハイパー・スレディング・テクノロジーが搭載されています。ご購入時のハイパー・スレディング・テクノロジー設定は、有効になっています。
ソフトウェアや周辺機器を追加される場合は、ハイパー・スレディング・テクノロジーに対応しているか、販売元にご確認ください。
- 注 2 : ビデオメモリと共有しているため、「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」の「システム」では、搭載メモリサイズより少なく表示されます。
ビデオメモリの使用量は、Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) により、パソコンの動作状況によって自動的に変化します。
- 注 3 : メモリについては、533MHz の周波数で動作します。
- 注 4 : ・メインメモリの最大容量は拡張 RAM モジュール 512MB を 2 枚搭載した場合です。また、デュアルチャネルで動作させるには当社指定の純正オプションが必要です。
・このパソコンに取り付けるメモリは、PC2-4200 対応 (DDR2) または PC2-4300 対応 (DDR2) のものをお使いください。
- 注 5 : 当社指定の純正オプションを追加することにより、デュアルチャネルで動作させることができます。
- 注 6 : Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) を使用しているため、パソコンの動作状況により、メモリ容量が自動的に変化します。
- 注 7 : 液晶ディスプレイの特性について
・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・長時間同じ表示を続けるには、残像となることがありますが、故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。
この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 注 8 : 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがありますが、故障ではありません。
注 9 : グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は1677万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表現されます。
- 注 9 : ・このパソコンにはフロッピーディスクドライブは内蔵されていません。オプション品の FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) をお買い求めの上、お使いください。
なお、FDD ユニットの接続と取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) を接続すると、デスクトップの (マイコンピュータ) 内にドライブが表示され、フロッピーディスクドライブとして使うことができます。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは使用できません。
・ OASYS 文書フロッピー
・ 640KB でフォーマットしたフロッピーディスク
・ FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは、データの読み書きはできませんが、フォーマットはできません。
・ 1.25MB でフォーマットしたフロッピーディスク
・ 1.23MB でフォーマットしたフロッピーディスク
・ 720KB でフォーマットしたフロッピーディスク
- 注 10 : このマニュアルに記載のディスク容量は、1MB=1000²byte、1GB=1000³byte 換算によるものです。
Windows 上で 1MB=1024²byte、1GB=1024³byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。
- 注 11 : ドライブの主な仕様は次の通りです。
- | | |
|-------------|--|
| スーパーマルチドライブ | CD-ROM/CD-R 読出 : 最大 40 倍速、CD-RW 読出 : 最大 24 倍速、DVD-RAM 読出 : 最大 5 倍速 (4.7/9.4GB)、最大 1 倍速 (2.6/5.2GB)、DVD-ROM 読出 : 最大 16 倍速、DVD-R 読出 : 最大 10 倍速、DVD-RW 読出 : 最大 8 倍速、DVD+R 読出 : 最大 10 倍速、DVD+R DL 読出 : 最大 8 倍速 (8.5GB)、DVD+RW 読出 : 最大 8 倍速、CD-R 書込 : 最大 40 倍速、CD-RW 書込書換 : 最大 10 倍速、DVD-RAM 書込 : 最大 5 倍速 (4.7/9.4GB)、DVD-R 書込 : 最大 16 倍速、DVD-RW 書込書換 : 最大 6 倍速、DVD+R 書込 : 最大 16 倍速、DVD+R DL 書込 : 最大 4 倍速 (8.5GB)、DVD+RW 書込書換 : 最大 8 倍速 |
|-------------|--|
- 注 12 : 56000bps は、V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。
詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見えるマニュアル」→「2 . 関連するマニュアル」→「内蔵モデム」をご覧ください。
- 注 13 : 地上デジタル放送、BS/CS 放送のチャンネルは受信できません。
- 注 14 : ペーパービューのチャンネルはサポートしていません。
- 注 15 : 録画機能は、パソコン本体が起動しているときのみお使いになります。
- 注 16 : ・テレビ番組の録画などは、お客様個人またはご家庭で楽しむ目的でのみ、ご利用ください。
・ビデオなどコピーガード信号を含んだ映像を、録画することはできません。
また、ビデオ入力 (S ビデオ) 端子やビデオ入力 (コンボジット) 端子に接続した一部のビデオ機器では、メニューや操作画面においてコピーガード信号を出しています。このような場合も、映像を録画することはできません。
- 注 17 : 「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「xD- ビクチャーカード」の同時使用はできません。
「マジックゲート」などの著作権保護機能には対応していません。
マルチメディアカード (MMC) には対応していません。
- 注 18 : すべての USB 対応周辺機器について動作するものではありません。
- 注 19 : 電源 OFF 時の消費電力を回避するには、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 注 20 : エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 注 21 : 出荷時に、Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されています。
- 注 22 : Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されている必要があります。
- 注 23 : 他の OS をお使いになるときは、FMV 活用サイト AzbyClub (アズビークラブ) ホームページ (<http://azby.fmwworld.net/>) をご覧ください。

2 その他の仕様

液晶ディスプレイ

■ LX90L/D, LX70L, LX90LN の場合

表示方式	TFT
サイズ	20 型ワイド
最大解像度	1360 × 768 ドット
最大発色数	1677 万色
画素ピッチ	0.325mm × 0.325mm

■ LX50L, LX50LN の場合

表示方式	TFT
サイズ	17 型
最大解像度	1280 × 1024 ドット
最大発色数	1619 万色
画素ピッチ	0.264mm × 0.264mm

内蔵スピーカー

方式	トランソニックスピーカー
スピーカーユニット	口径 : 40 (mm) × 1 個 インピーダンス 4.0Ω
定格入力	2W/ch
音圧レベル	77dB/W (m)
再生周波数	170Hz ~ 20kHz

LAN 機能

LAN コントローラ	Realtek RTL8100C
送受信バッファ用 RAM	送受信 各 2kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル ^{注1} (100Mbps : カテゴリ 5、10Mbps : カテゴリ 3 ~ 5)
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数/セグメント	ハブユニット ^{注2} による

注1 : ネットワークを 100Mbps で確実に動作させるには、非シールド・ツイスト・ペア (UTP) カテゴリ 5 またはそれ以上のデータ・グレードのケーブルをお使いください。カテゴリ 3 のケーブルを使うと、データ紛失が発生します。

注2 : ハブユニットとは、100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

POINT

ネットワークのスピードについて

LAN はネットワークのスピードに自動で対応します。ハブユニットの変更などでネットワークのスピードが変更される場合、スピードに対応した適切なデータグレードのケーブルを必ずお使いください。

高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード

割り込み (IRQ)	PCI システムによる自動設定
メモリマッピング	PCI システムによる自動設定
NTSC 入力仕様	NTSC コンポジット : 1Vp-p75Ω S ビデオ : 1Vp-p75Ω
コネクタ	ビデオ音声入力端子 (右) ・ ・ RCA ピンジャック × 1 ビデオ音声入力端子 (左) ・ ・ RCA ピンジャック × 1 ビデオ入力 (コンポジット) 端子 ・ ・ RCA ピンジャック × 1 ビデオ入力 (S ビデオ) 端子 ・ ・ ミニ DIN4 ピンジャック × 1 地上アナログアンテナ入力 (F 型同軸) ・ ・ F 型コネクタ × 1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75Ω F 型コネクタ

デジタルチューナー

LX90L/D の場合、および LX90LN でデジタルチューナーを選択した場合のみ

コネクタ	ビデオ入力 (F 型同軸) 端子・F 型コネクタ×2
RF 入力端子	75Ω F 型コネクタ
BS アンテナ電源供給	右旋円偏波時: DC15V、最大 4W、左旋円偏波時: DC11V、最大 3W
受信周波数	地上デジタル: 470 ~ 770MHz (U13 ~ U62) BS / 110 度 CS デジタル: 1032MHz ~ 2071MHz

リモコン

通信方式	赤外線方式	
使用可能距離	3m	
乾電池の寿命の目安	約 6ヶ月 (マンガン乾電池使用時)	
使用可能範囲	水平	約 30°
	垂直	上: 約 10° / 下: 約 40°
使用電池	単 3 形乾電池 2 本	

ワイヤレスキーボード (ワンタッチボタン付、105 キー、無線方式、抗菌^注)

キー配列	105 キー (テンキー付) + ワンタッチボタン (8 ヶ) + パソコン電源ボタン
インタフェース	RF (無線) 方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m (3m 以内を推奨)、左右約 45 度 (ただし、設置環境により短くなる場合があります)
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 6ヶ月 (ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります)
外形寸法 (W × D × H)	約 437mm × 約 170mm × 約 35mm (チルト未使用時)
質量	約 1200g (乾電池含まず)

注: 抗菌処理部分: キーボードのキートップ部分 (キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く)

ワイヤレスマウス（光学式）

セレクトスイッチ動作形式	2 押ボタン、1 ホイール
インタフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m(3m 以内を推奨)、左右約 45 度 (ただし、設置環境により短くなる場合があります)
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 3 ヶ月 (ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります)
外形寸法 (W × D × H)	約 60mm × 約 114mm × 約 35mm
質量	約 90g (電池含まず)

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→

「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

索引

A

Application ボタン 21

B

B-CAS カードスロット 18

BS・110度CS デジタルアンテナ入力 (F型同軸) 端子 18

C

CD/DVD 取り出しボタン 16

CONNECT ボタン 19

D

DDR2 86

DIMM 86

E

ECC 86

I

ID 設定 95

IEEE1394 (DV) 端子 17

L

LAN コネクタ 18

LINE 端子 18

M

Mute (消音) ボタン 21

N

Norton AntiVirus 69

P

PC カードスロット 17

PC カード取り出しボタン 17

PHONE 端子 18

S

SDRAM 86

SPD 86

U

USB コネクタ 17, 18

W

Windows

— Update 66

— 使用許諾契約書 50

— セットアップ 45

あ行

明るさ調節つまみ 18

インターネット 64

インターネットボタン 21

インレット 17

ウイルス 64

ウイルス対策ソフトの初期設定 69

液晶ディスプレイ 16

液晶ディスプレイのお手入れ 30

音量調節ボタン 21

か行

各部名称 15

— パソコン本体前面 16

— パソコン本体側面 17

— パソコン本体内部 20

— パソコン本体背面 19

— ワンタッチボタン 21

キーボード

— ID 設定 95

— 乾電池 94

— 準備 34

キーボード/マウスアンテナ 16

機種名 24

強制終了 61

クリック 48

光学式マウス 49

さ行

サービスアシスタント 57

サポートボタン 21

仕様

— LAN 機能 108

— 液晶ディスプレイ 107

— 高画質ハードエンコーダ付TVチューナーカード 108

— デジタルチューナー 109

— 内蔵スピーカー 107

— パソコン本体 102

— リモコン 109

— ワイヤレスキーボード 109

— ワイヤレスマウス 110

スーパーマルチドライブ 16

スピーカー 16

セキュリティ対策 64

接続する 33

セットアップ 45

ソフトウェア

— 使い始める 58

た行

ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD-ピクチャーカード) . . .	17
地上アナログアンテナ入力 (F 型同軸) 端子 . . .	18
地上デジタルアンテナ入力 (F 型同軸) 端子 . . .	18
通風孔	19
電源	
- 入れる	62
- 切る	59
- 切れない場合	61
電源ケーブルの接続	42
盗難防止用ロック取り付け穴	19

は行

ハードディスク / CD アクセスランプ	16
初めて電源を入れる	44
パソコン電源ボタン	16
パソコン電源ランプ	16
バックアップボタン	21
光デジタルオーディオ出力端子	18
ビデオ音声入力端子 (左)	18
ビデオ音声入力端子 (右)	18
ビデオ入力 (S ビデオ) 端子	18
ビデオ入力 (コンポジット) 端子	18
品名	24
ヘッドホン端子	17
保証書	31
ボリュームボタン (+)	21
ボリュームボタン (-)	21

ま行

マイク端子	17
マウス	
- ID 設定	95
- 乾電池	94
- 準備	34
- 持ち方	48
メール着信ランプ	16
メールボタン	21
メニューボタン	21
メモリ	85
- 組み合わせ	86
- 取り付け	88
- 持ちかた	87
メモリスロット	20, 85
メモリバスクロック	86

や行

ユーザー登録	74
------------------	----

ら行

ラインアウト端子	18
ラインイン端子	18
リモコン受光部	16

わ行

ワンタッチボタン	21
--------------------	----

FMV-DESKPOWER LX90L/D,LX70L,LX50L,LX90LN,LX50LN

パソコンの準備

B6FH-5181-02-00

発行日 2005年5月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。